

中部大学幸友会 会報2013

幸友

特集 Special Feature

スペシャル座談会

幸友会が望む 大学のあり方

ふらっと美術館めぐり

昭和美術館

おとなの健康塾

「集うこと」のすすめ

VOL.16

CAMPUS NEWS

1

ロボット理工学科まもなく始動

Department of
Robotic Science
and
Technology



2014年4月、工学部にロボット理工学科が開設され、各理工学分野の最先端技術を持った研究者たちが集結します。学科専門教育科目は、理学、工学設計、プログラミング、制御・信号処理、生体医療科学、創成科目の6つに区分。工学部共通科目とも連携し、体系的に編成しています。卒業研究では、それぞれの分野で最先端のロボット研究を行うとともに、幅広い分野をバランスよく学び、質の高い専門性を身につけます。今後、世界を大きく変える技術者が誕生する日も、そう遠くはありません。

2

リハビリテーション学専攻(修士課程)を開設

2014年4月、大学院の生命健康科学研究科にリハビリテーション学専攻を開設します。高度な知識とリハビリテーション業務が求められる医療機関等の現場では、分野の垣根を越えた連携と、共有・理解する専門分野外の基本的知識の把握も必要です。生命健康科学研究科に既設の生命医科学専攻と看護学専攻とも連携共同することで、発展的かつ実践的なりハビリテーション学を身につけます。授業は平日夜間(18時～)と土曜日も開講し、研究指導を行うことで、社会人にも履修しやすい学習環境を整えています。



3

創造エネルギー理工学専攻(修士課程)を開設

大学院工学研究科に、エネルギーや地理情報、宇宙・地球科学関連などの技術産業で活躍する人材の育成を目指す

「創造エネルギー理工学専攻(修士課程)」を設置します。

- 01 ニュース
CAMPUS NEWS
- 02 メッセージ
ごあいさつ
- 03 特集 スペシャル座談会
幸友会が望む大学のあり方
清水建設株式会社 常務執行役員名古屋支店長 波岡 滋氏
医療法人社団喜峰会東海記念病院 理事長 岡山 政由氏
株式会社名古屋東急ホテル 執行役員総支配人 佐藤 友康氏
リンナイ株式会社 取締役常務執行役員 管理本部長兼経営企画部長 小杉 将夫氏
木野瀬印刷株式会社 代表取締役 木野瀬 吉孝氏
- 11 インタビュー
企業人の格言
愛知株式会社 代表取締役社長 島本 迪彦氏
株式会社サラダコスモ 代表取締役社長 中田 智洋氏
- 13 ふらっと美術館めぐり
昭和美術館
- 15 講演報告
企業経営講演会
中部大学特命教授 宮本 順一氏
NHK解説委員 嶋津 八生氏
- 17 暮らしのエッセイ
喫茶空間と現代の風俗
フリーライター 岡本 信也
- 19 シーズ紹介
研究室訪問
中部大学 応用生物学部 環境生物科学科 准教授 山田 邦夫
中部大学 工学部 機械工学科 准教授 平沢 太郎
中部大学 生命健康科学部 理学療法学科 准教授 宮下 浩二
中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンター 准教授 竹島 喜芳
- 23 おとなの健康塾
「集うこと」のすすめ
中部大学 生命健康科学部 作業療法学科 教授 向 文緒
- 25 本棚から社会を見る
新聞が教えてくれない国際政治の最前線。
中部大学 全学共通教育部 全学総合教育科 教授 西川 恵
- 28 会員企業紹介
幸友会会員企業を訪ねて
株式会社林スプリング製作所 原田 尊宏さん
アイコアルファ株式会社 村田 成隆さん
株式会社清水屋 服部 関介さん
- 31 幸遊見聞記
湯之島館
- 33 就職レポート2013
今こそ求められる、就職における
企業と大学との関係性とは？
- 35 総会報告
第25期中部大学幸友会総会報告
- 37 総会講演ダイジェスト
シミズの環境への取り組み
清水建設株式会社 代表取締役社長 宮本 洋一氏
- 39 レポート
幸友会講座ダイジェスト
- 40 ニュース
中部大学ビジネススクール(経営学修士課程)MOT型MBA
- 41 寄稿
メンバーズサロン
- 43 イベントレポート
中部大学フェア2013
- 45 お知らせ
イベントのご案内 & TOPICS

ごあいさつ

2014年、開学50周年の 中部大学にご注目ください。



中部大学幸友会 名誉会長

学校法人中部大学 理事長・総長 いいよし あつお
飯吉 厚夫

中部大学幸友会の皆様には、日頃より、文化活動や産官学連携など幅広いご支援を賜りましてありがとうございます。

さて、中部大学は来年開学50周年を迎えるにあたり、学生支援センター棟(仮称)を建設します。学生自身が主体的に心身を鍛え、人間力を養っていける場となるよう計画いたしました。

どうか趣旨にご賛同いただき、皆様の格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、本学は現在、国連大学とともに推進する「持続可能な発展のための教育(ESD)」の中部地区拠点校として活動中です。名古屋で来年開催される「ESDユネスコ世界会議」に向けて、中部モデルの構築を目指してさまざまなプロジェクトを進めています。

これらの活動にもご理解をいただき、幸友会会員企業の方々も、ぜひいろいろな形で注目・参加をいただければ幸いです。

今後ともあたたかいご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

強固な連携を目指して、 大学と企業との 橋渡し役を担いたい。



中部大学幸友会 会長

春日井商工会議所会頭 まつお たかのり
松尾 隆徳

中部大学幸友会は今年で第25期を迎えました。工科系に端を発した大学も、総合大学へ発展し、さまざまな産官学連携を進めてまいりました。その連携をより強固なものにするためにも、幸友会が大学との橋渡し役を担うことができればと思っております。お気づきの点がございましたら遠慮なくお申し出いただきたいと存じます。

また来年、中部大学は開学50周年を迎えます。幸友会あるいは中部大学の卒業生が活躍する企業の立場として、大変恐縮ではございますが、中部大学振興基金、50周年記念学生支援センター棟建設事業資金へのご協力をお願い申し上げます。

地元春日井から考えますと、中部大学は春日井市にある唯一の大学です。幸友会で中部大学を支えるとともに、大学と会員企業ともども発展していくことができれば幸いです。

今後、幸友会の事業にご参加、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

特集

スペシャル座談会

幸友会が望む 大学のあり方

2014年、中部大学は開学50周年を迎えます。

この節目となる年を目前に控え、

次なる50年に向けて大きく動き出そうとしています。

時代背景が変化していく中で、

大学も進化しなければなりません。

そこで、今回は第一線でご活躍されている

幸友会会員企業の皆様をお迎えし、

社会が望む大学教育・人材育成・産学連携について

語っていただきました。

～2013年9月11日名古屋東急ホテル 楓の間にて～



(司会)

木野瀬 吉孝氏

木野瀬印刷株式会社
代表取締役

佐藤 友康氏

株式会社名古屋東急ホテル
執行役員総支配人

波岡 滋氏

清水建設株式会社
常務執行役員名古屋支店長

小杉 将夫氏

リンナイ株式会社
取締役常務執行役員
管理本部長兼経営企画部長

岡山 政由氏

医療法人社団喜峰会東海記念病院
理事長

若い世代の特徴と 企業から望むこと

木野瀬 来年、中部大学は開学50周年を迎えます。本日は、幸友会企業企業の皆様と中部大学の校医である岡山さん、司会を含め5名で中部大学、さらにはこれからの大学教育に望むことについて語っていき

イノベーションに繋がる 産学連携のあり方を目指して。

清水建設株式会社
常務執行役員名古屋支店長

なみおか しげる
波岡 滋氏



幸友会会員企業

清水建設株式会社

1804年創業の大手総合建設会社。歴史的建造物の保存・復元、環境エネルギーの将来を担う技術開発、再開発や投資開発プロジェクト、海外での温暖化ガスの排出権ビジネスなど、様々な分野で豊富な実績を有している。

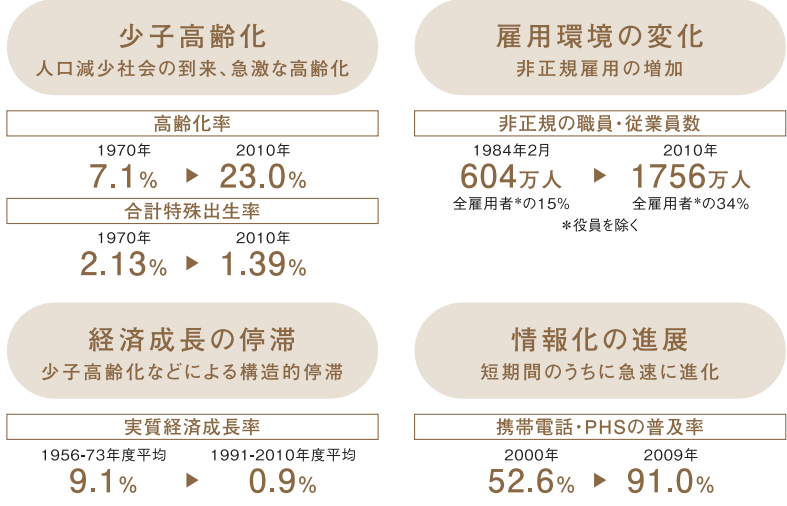
バブルを経験したこともなければ、日本が高度成長した時代も経験していません。時代背景を含め、私たちが社会人になった頃と比較しながらお話いただけますでしょうか。最初に、佐藤さんからお願います。
佐藤 今の若い世代は非常に賢い。それを最初に感じたのは、採用面接です。大学で勉強してきたことを履歴書にしっかりと書いてきます。勉強の目的、資格取得の理由等、勉強とその先にある卒業後の指向がしっかりつながっている学生が多いです。

入社後も、自分が学んできたことを仕事の中でさらに広げていきたいという意識が強いですね。しかし、ホテル業には多様な仕事があり、最初から思い描いたキャリアに必ずしも配属されるわけではありません。自分の希望した部署に配属されないと、そこで思考停止になってしまう新入社員も少なからずいます。実社会で柔軟に変性していくことがなかなかできない印象も持っています。また、いい意味で破天荒な若手社員の存在があまり聞こえてきません。そういったことから、枠から外れた人材や既定路線から外れた際の適応力が、もう少しあってもいいのではないかとホテルの現場にいて感じています。

木野瀬 特に、大手企業ともなれば業態も幅広く、色々な仕事待ち

受けています。清水建設の波岡さんは最近の新入社員についてどう感じていますか。
波岡 現場での仕事量は以前に比べはるかに多くなっています。また、近年では社会やお客様からの要求レベルが高まり、行政や設計者とのやり取りも多岐に渡るなど変化してきました。私が入社した頃は図面を描いたり、現場を見る時間があった

社会情勢の変化



出所：高齢化率、世帯主65歳以上単身・夫婦のみ世帯数については総務省「国勢調査」(1970年度、2010年度)、合計特殊出生率については厚生労働省「人口動態統計」、非正規の職員・従業員数については総務省「労働力調査 長期時系列データ」、実質経済成長率については内閣府「国民経済計算」平成10年度確報(1956-73年度平均)、平成21、22年度確報(1991-2010年度平均)、携帯電話・PHSの普及率については総務省「通信利用動向調査」より。

地域社会へ参加していくことで、 社会人基礎力を身につける。

医療法人社団喜峰会東海記念病院
理事長

おかやま まさよし
岡山 政由氏

医療法人社団喜峰会 東海記念病院

春日井市の東部地区の医療を担う中核病院。2000年に健康管理センターを開設し、「救急医療」から「リハビリテーション」「予防医学」「在宅介護」まで、トータルなニーズに対応できる医療体制を確立。現在は、地域医療にも貢献している。



ゆったりあったように思います。職人

さんたちとのコミュニケーションも多く、さまざまなことを教わったり、失敗して叱られたりも日常でした。残念ながら最近はそのような接点が希薄になりつつあります。現場はチームで仕事を進めていきますので、さまざまな関係者といかにコミュニケーションをとるかが重要です。外に出て、現場に出て軋轢を恐れず人と接してほしいですね。専門領域の勉強はもちろん大事ですが、会社にはやるべきことは幅広くあるのですから

入社後の配属部署にとらわれず、思い切って眼の前の仕事に向き合っていく切つてね。

木野瀬 我々が学生だった頃とは

違う変化は、「国際化」、「高度情報化」、「成熟化」、「少子高齢化」が大きな波として押し寄せたことで

す。小杉さんは製造業の立場で最近の新入社員をどのように捉え、指導されているのかお聞かせいただけますか。

小杉 私が学生の頃はオイルショックがあり、就職難でしたから、大学

で学んだ専門分野が最初から活かせるとは期待しない時代でした。今の若い人たちは大学での学びを活かせる仕事ができたらいいなと思う傾向があります。また、会社では個性を前面に出したがりません。私たちの頃は、貪欲に自分らしさを出す仕事をしようと思ったのですが、目立つことは、誰かが損をするのでいけないのではないかという感覚が今の若い人たちにはあるようです。さらに、自分の強みを特化して伸ばすことより、弱点をなくす傾向が見受けられます。強みと持ち味である個性の組み合わせにより、前例のない良い仕事ができるのであって、欠点をなくしていく発想では強みのない平均レベルを組み合わせてやることとなり、面白くないばかりか改革にもなりません。競争意識や個人の強みを伸ばすことがいいことだと認識してもらうには多少時間がかかるかもしれませんが、指導方針として強みと個性を伸ばすよ

うにしています。また、高度情報化に伴い情報が氾濫している時代です。自らの目で見て、直接調べること力を入れて教えています。我々の世代よりも真面目な人が多いですから、きつかけさえ正しく導くことができれば大きな力を発揮してくれるはずですよ。

木野瀬 岡山さんが医師になられた当時と現在では何か違いはありますか。

岡山さんが医師になられた当時と現在では何か違いはありますか。



岡山 医療人は個々によって相当違

いがありますから、医者になった当時と現在を比べ、どこが違うかについては一概に言えません。若い人たちの変化について述べる以前に、少子高齢化の中で、日本のバックグラウンドが変わっています。そこを抜きにして、今の若い人たちだけを捉えて考えるのではなく、終戦からのさまざまな時代要素があつて今日があるわけです。そのあたりを考えて、今の大学教育に足りないところを提案する考え方をした方がいいのではないかと思っています。

第2章

時代の変化とともに
求められる人材と
大学教育

木野瀬 バックグラウンドの変化の一つに、国際化が挙げられます。国際化は多くの企業が関わるところですが、小杉さんは社員に対し、国際感覚についてどのようなレベルを求めて

いらつしやいますか。

小杉 海外進出については、地産地消を目指しています。できるだけ現地のメンバーで生産、販売してもらうためにサポートを行うなど、地域に密着して現地を支える方針展開です。語学は現地に行けば、ある程度できるようになります。それよりも、お互い意見を出し合い、異文化を認めて相手の考え方のいいところを柔軟に取り入れ、日本のいいところを現地に合った形へアレンジ・提案していける発想ができる人材を養成し、海外へ送り込んでいます。

木野瀬 国際化に対する社員教育を含め、ホテル業ではどのような対策をされていますか。佐藤さんが海外勤務された時の事も含めてお願いします。

佐藤 上司と飲む度に、海外勤務がしたいと希望を伝えていたところ、辞令でシンガポールへ海外赴任することになりました。自発的に英語を勉強してTOEICで高得点が取れるように努力もしていましたし、海外で働きたいという漠然とした希望・夢がありましたので、それを叶

えられたことは非常にうれしかったです。シンガポールでの仕事は、海外の不動産管理。ホテルの建物を賃貸人であるホテルオペレーターに貸すことで利益を上げる仕事です。その当時、アジアは日本単独の資本で進出することが難しかったため、現地パートナーと会社を設立して活動していました。当然、現地の人たちのビジネス思考は日本と異なります。アプローチやプロセスの考え方が違う人たちと、同じ目標を掲げ、日本と同じスキームで仕事をすることは勉強

になりました。

になりました。

木野瀬 事前の雑談の中で、医療は輸出産業になっており、海外事例もあると岡山さんからお聞きしたのですが、一番進んでいる国はどこですか。

岡山 タイです。シンガポール、マレーシア、中国、韓国も進んでいます。中国では北京郊外に施設を建設し、海外から患者を呼び寄せる医療ツーリズムを行っています。日本でもまだ少数ですが、旅行ついでに検診・人間ドックを受けていただく取り組み

専門領域を学ぶ場から、
広く社会に開かれた学びの場へ。

株式会社名古屋東急ホテル
執行役員総支配人

さとう ともやす
佐藤 友康氏

幸友会会員企業

株式会社
名古屋東急ホテル

“名古屋で一番いいホテルであること”をビジョンとして掲げる国際級ホテル。客室数562室(地上16階/地下2階)、宴会場14室(最大1,500名収容)、チャペル、神殿、直営レストラン、テナント、フィットネスクラブなど様々な機能を完備。



みがあります。近い将来、遺伝子治療や日本が先端をゆくiPS細胞による治療での医療ツーリズムが出てくる可能性が考えられます。

木野瀬 シンガポールは、日本人医師・スタッフが揃っているので日本企業も安心して進出でき、移住する人もいるようです。佐藤さんが勤務されていた当時はいかがでしたか。

佐藤 日本人向けのクリニックがありました。大きな国立病院には、日本人スタッフがおり、必要であれば介添えをしてくれる所もありました。逆に言えば、日本人は語学に弱いからこそその対応です。日本を除いた他国の人たちには、そのようなサービスはありませんでしたから。

木野瀬 中部大学には医療系の学科がたくさんありますが、海外に目を向けた勉強も必要ではないでしょうか。

岡山 病院職員は一部を除いて、ほとんど国家資格のプロフェッショナルです。資格は国の制度によって違うため、海外で日本の資格を活用して仕事をすることはできません。

木野瀬 では逆に、外国人が多く来

日していますが、日本語の通じない外国人患者さんは増えていますか。

岡山 確かに増えています。そのような事を解決するために、愛知県では数カ国語で対応できるように電話で企業や患者さんとの間に入り、会話ができるようにしています。また、病院にあらかじめアポイントをとってから来院していただくなどのサービスもできています。

木野瀬 波岡さんは、国際化にどのように対応されていますか。

波岡 建設業界全体では国内の建設投資はピーク時に比べほぼ半分で、この中部圏もそうですが、海外進出されるお客様が増えていることもあり、海外での仕事量は増えています。建設の仕事は土地と切り離せない点でその特殊性を内在しています。実際に現地で建設に従事するのは宗教や文化を異にする人々です。そういう環境の中で日本のお客様が求める品質・安全のレベルを現地の人たちと一緒につくっていくかなければなりません。良かれと思ってしまうが、契約とは違うというところで思わぬ大きなトラブルになることもあり

強みと個性を伸ばすことにより、 前例のない良い仕事生まれる。

リンナイ株式会社
取締役常務執行役員 管理本部長兼経営企画部長 こすぎ まさお 小杉 将夫氏

幸友会会員企業

リンナイ株式会社

“「熱」を通じて「快適な暮らし」を社会に提供する”ことを企業使命とする熱エネルギー機器メーカー。給湯器や給湯暖房機などの給湯機器をはじめ、厨房機器や空調、業務用機器など、様々な分野の商品を、最新鋭の技術で生み出している。



ます。民族、宗教、歴史、習慣の異なる中で一つのプロジェクトを完成まで導いていくプロジェクトリーダーが求められています。

木野瀬 国際的に活躍できるプロジェクトリーダーを社内でのよう
に教育し、さかのぼって言えば、大学でどんな教育をすればよいとお考えですか。

波岡 国内でもプロジェクトリーダーの育成は大きな課題です。専門化、高度化が一層進む中で、現場の所長にも社内外の多面的な能力が求

められています。技術屋がほとんどなのですが、法務や経理の知識も必要ですし、もちろんその専門家をうまく使えばいいのですが、責任者として統括することは当然です。自分の専門領域だけでなく、社内の専門家の支援をもらいながら、一定のレベルまで知識として把握した上で自分の中で咀嚼をし、リスクヘッジがで

き、おかしいことにはおかしいと感じる直感力が求められます。実務を通じてしか得られないことも多いと思いますが、留学やインターンシップ

学問としての教育に加えて、 心の教育もおこなうべき。

木野瀬印刷株式会社
代表取締役

きのせ よしたか
〈司会〉木野瀬 吉孝氏



幸友会会員企業

木野瀬印刷 株式会社

印刷物の企画・デザイン・編集、ホームページの作成から、顧客分析、在庫管理、発送代行までをトータルで手がける地元・春日井市の印刷会社。中国・大連にグループ企業を持ち、低コスト・短納期のサービス提供を実現している。

も有効ですし、より実社会に近い経験、長期のインターンシップなどを期待したいですね。

木野瀬 中部大学と春日井商工会議所で契約を交わし、今年から報酬型インターンシップが実験的に始まっています。そうした取り組みは、企業だけでなく地域医療等の場でも展開が可能でしょうか。

岡山 学生同士の交流の中で、専門的な領域を学ぶことも大事ですが、地域社会に出て行くことは、自身の間人形成にも繋がる非常に大

切なことだと思えます。特に、春日井市はこれから2025年に向けて全国的にも高齢者が多い地域になります。そのような高齢者の下に学生が出向いて買い物、食事などのお手伝いをするといったのではないのでしょうか。

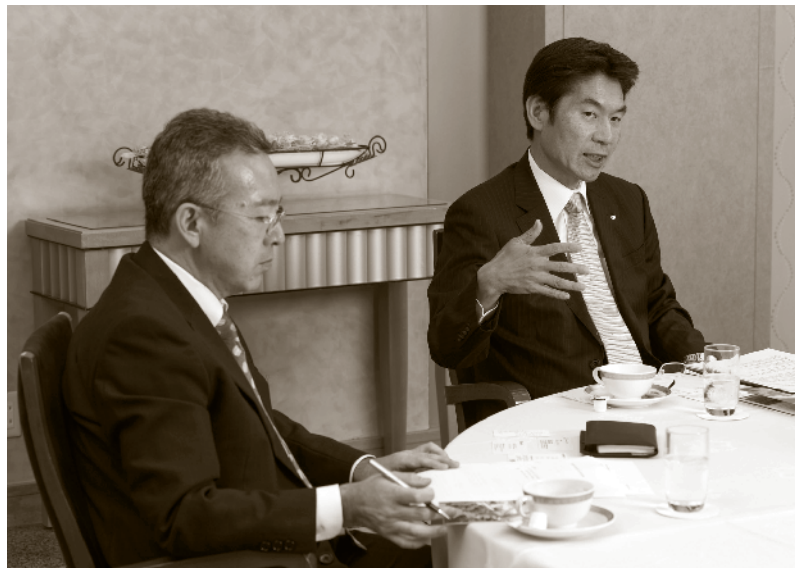
木野瀬 中部大学からほど近い高蔵寺ニュータウンは高齢化が進んでいます。そのような場所です学生が下宿をして地域に入り、色々な体験や生活をする中で交流を深める取り組みも国からの補助金も付いて始ま

ろうとしています。

小杉 学生同士では活発に話をしているのですが、社会人と話すことに慣れていない学生が増え、面接で会話が噛み合わないこともあります。世代の違う人たちとの接点が減っているからではないでしょうか。

ですから、社会と色々な形で接点を持たせ、そこに働きかける企画や行動については、褒めて評価してもよいと思います。

木野瀬 中部大学には多様なサークルがあり、以前には見かけなかったボランティアサークルもあります。東日本大震災以降、福島県伊達市から春・夏・冬休みごとに子どもたちを招いて、「福島つ子キャンプ」を企画運営しているサークルのリーダーを中部大学大学院生が務めています。子どもたちに慕われ、最後には子どもたち全員が別れを惜しんで泣いて帰っていくそうです。佐藤さん、岡山さんにお聞きし



たいのですが、業界としてホスピタリティを持った学生を求める傾向はありますか。

佐藤 ベースとして人に何かをしてあげたい思いのある人でないとホテル業は務まらないと思います。「お客様の喜びは、自分の喜び。お客様が喜んでくれたことが自分の喜びにつながる」ことがホテル業の醍醐味」と、よく話しています。どんな職業にも

言えることですが、企業の繁栄や個人の幸せも大事ですが、それと同時に社会の幸せ・豊かさに自分の仕事に繋がっていると実感できることが大切だと思います。

岡山 ホスピタル(病院)はホスピタリティが語源です。当然のことですが、病院で働くスタッフの多くは、ホスピタリティを持っています。ほとんどのスタッフは専門職であり、患者さんと接する仕事を中心となるため、一般企業に比べて目的意識も高く、ホスピタリティを備えて病院に入職してきます。そのような素質を学生教育で、いかに伸ばし、継続させられるのかを考えていけたらいいですね。

第3章

変化する

大学のあり方と

中部大学への期待

木野瀬 学問としての教育も必要ですが、心の教育も備えていないといけませんね。大学と企業の取り組み

として産学連携がありますが、実際の取り組みと、その課題を教えてください。

波岡 中部大学さんとは既にスマートフォン・パソコン構想の計画を一緒に進めさせていただいておりますが、こうした新しい取り組みは産学連携の大きな成果の一つだと思います。建設業界では、技術的には大きな進展があるものの、建設のシステム全体を根本から変えるような大きな革新は残念ながら未だありません。大学での大胆な発想とそれを実現に結び付ける我々実業とが化学反応を起こし、イノベーションに繋がるような連携の実例を創りたいですね。

小杉 熱機器メーカーの当社は、エネルギーを効率良く燃やすための燃焼技術、熱交換、流体制御、それに関わる電子制御などで産学連携して取り組んできました。しかし、非常に高度でシステム化した複雑なものになってきているため、次の社会に役立つニーズを拾うのに時間が掛かるだけでなく、それを解決する基礎技術に今まで以上に時間が掛かります。企業は、どうしても早く成

果を出すことに優先順位を置きがちです。研究とのバランスをとって進めるように気を付けなければなりません。産学連携ではイノベーションの上流と、それを実現していく基礎技術・研究を大学に行っていただき、実用化が見えてきたところで企業がその研究成果を買うというスタイルが重要になってくるのではないのでしょうか。

木野瀬 実利が伴ったいい例ですね。最後に、中部大学に期待することをお話いただけますか。

佐藤 会社・個人として、私たちが社会のために何ができるかを常に考えようと社員に語りかけています。厳しい時代の中で、自分を守ることが、生活を確保することが難しく、それらが重視されたりしますが、働くことの大義や目指すべき志を忘れないでほしいですね。それらをどうしたら各々の心に植え付けられるかと考えると、さまざまな経験、行動、触れ合うことでしかできないはずですね。そういった意味で大学は、自分で一定の判断ができるレベルになった学生たちが、自分の見識や人間性を

高めるために精進できる場だと思います。大学は色々なことを経験し、色々な人と交われる場所であってほしいと思います。ボランティア活動などを、大学をあげて支援していただくことも非常に有効な方法であり、インターンシップも新たな方法を模索しながら取り組んでいただきたいですね。大学は、専門領域を学んで修得させる場から、広く社会に開かれた学びの場になってほしい。そういったことから、大学のあり方はどんどん変化していいのではないのでしょうか。

小杉 我々は人物本位で会社の考え方に共感できる熱意ある人、チームワークを重んじる人を重視しています。学生時代に色々なものに挑戦して幅を広げ、社会との接点を増やし、経験、行動した実績がものをいいます。そうすれば、会社の中でどのように成長し、仕事で役に立っているのか自信を持って面接で言えるでしょう。授業やアルバイト以外で何かに熱中できる人は、仕事にも熱中できる要素があると思いますので、そのような機会を与えていただけ

ばと思います。

波岡 私は根っからの理系で、歴史が嫌いだったので、高校の数学の教師がしてくれた現代史の話がきっかけで歴史に目覚め、以来少しずつ穴埋めをするようなことをしています。中部大学は「不言実行」「あてになる人間」「実学教育」を徹底させています。得意なもの、好きなものを極め、高度な専門知識を修得されることは素晴らしいことです。しかし、その土台には工業技術だけでなく幅広く環境や社会を見渡す力、生涯学び続け主体的に考え行動できる人材であることが必要だと思います。しっかりと専門を支える大きな土台づくりの場になるといいですね。

岡山 大学の看護教育の実態について調べてみたところ、社会人基礎力について語っている大学がいくつかありました。2006年に経済産業省がどんな仕事についても、最低限必要な能力という概念で、職場や地域社会で人々と仕事をするために必要な基礎力と定義しており、3つの能力と12の能力要素で構成され

ています。3つの能力とは、「前に出

す力」「考え抜く力」「チームで働く力」これらに12の要素が加わり、大学教育から養成されていくというものです。医師・看護師にとっても、常に新しい学問・技術が出てくるため、昔と内容が異なり大変な時代です。また、学問だけでは身につかない要素もたくさんあります。学長も言われていますが、中部大学は春日井市という地元と密着していかなければなりません。もともと大学から地域に出て行くような教育があってもいいはずですが、地域に参加していくことで社会人基礎力が、初めて身につくのではないかと考えています。

木野瀬 今、岡山さんが言われたことは中部大学が取り組んでいる「**地育地活**」そのものです。本日は、大学が今後目指すべき方向性が見えただけではなく、現在、中部大学が取り組んでいることの大きな後押しになったと思います。ありがとうございます。





「集いと学び空間を デザインする」

世界に通用する製品と 企業づくりのために。

当社は、大学、高等学校等の教育施設をはじめ、劇場、ホール、映画館等の文化施設、企業の研修施設、スポーツ施設等の公共施設向けのイスやテーブルを製造・販売する専門メーカーです。製品を納めさせていただく多くの施設は、様々な人が利用する空間であり、そこは人と共にイスとテーブルが主役と成り得る空間。このような空間を、私は「集いと学び空間」と呼んでいます。単に、製品を購入していただくのではなく、このような集いと学び空間に、最も適したイスやテーブルとその配置など「空間全体を提案」するように心掛けてきました。そのようなことから、「集いと学び空間をデザインする」を企業ポリシーとしています。「デザイン」には、意匠デザインだけではなく、計画、企画、立案などの意味も含め、当社のもつづくりと空間設計にこだわる姿勢も言い表しています。この企業ポリシーは、当社の求心力を高めるフレーズとして、もう20年以上に渡り使い続けており、2008年には商標登録もいたしました。

集いと学び空間をデザインしていく上で、私

共メーカーにとって核となるのが質の高いものづくりです。特にデザイン、機能、品質においては、世界に通用するレベルを目指して開発しています。その結果、日本のグッドデザイン賞を累計145品目受賞し、海外のデザイン賞も多数頂いております。なかでも当社のメッシュ・スタッキングチェアは生産・販売ともに今のところ世界ナンバーワン。

今後、さらに世界レベルの商品をつくりあげていければ、名実ともに世界市場で通用する専門メーカーとなれるはずですが、世界で戦える独自の技術・ノウハウ・人材などを持ち、グローバルに展開している可能性を探っていくことが、これから中小企業にとって大切だと思います。経営者がリーダーシップと明確な方針を示し、社内が一つの目標に向かって結束できれば、困難な状況に直面しても打開できると思います。「集いと学び空間をデザインする」は、私と当社の格言として、しばらく続くことになりそうです。

し



愛知株式会社 axona AICHI
代表取締役社長

島本 迪彦

島本 迪彦(しまもと みちひこ)氏/昭和15年愛知県生まれ。昭和37年慶応義塾大学商学部卒業。昭和41年愛知株式会社入社。昭和49年取締役就任。昭和51年常務取締役就任。昭和56年取締役副社長就任。昭和59年代表取締役社長就任。現在、公職として春日井商工会議所副会頭などを務める。

Interview

企業のトップが語る人生訓 Vol.7

企業人の格言



「長所に三重マル」

いい人生をつくるために
もっとも相応しい思想。

私がいつも心に留めている思想であり人生観、これが「長所に三重マル」です。企業、家族、友人、地域などのつながりの中で、人間関係の大切さを常々感じます。世の動きには理屈だけではなく、人の感情や感性が大きく影響していることは間違いありません。

この言葉が私の格言になったのは、私が40歳の頃。父から継いだ野菜生産を本格的に始めて10年目に聞いた、有名な経営コンサルタンの先生の話がきっかけです。「今までに四千社以上の会社と経営者を訪ねたが、短所を直そうとして良くなった試しはない」と話す先生に、私は「例外は？」と質問をしました。すると先生は「ただの一つもありません」と回答。この言葉を信じ抜こうと決めた瞬間でした。数年後、私は事業最大のピンチに陥りました。カイワレ大根のO157騒動です。何の罪もない私たちの商品が疑われ業績は大幅ダウン。しかしそのとき取った行動は、誰かを恨んでも仕方ない、今できることを考え、新商品を開発し、早期の業績回復を目指すことでした。

その後、平成18年に教育型観光生産施設「ちこり村」を開設しました。当施設の各所には日本儒学の最高峰、佐藤 斎の言葉を掲げています。学生時代に学んだ仏教と儒教はよく似た発想があり、その極意は人の役に立つこととであり、幸せになるためのコツです。訪れた方々にその考えを伝えることが私の一つの役割でもあります。また先般、岐阜県の子どもたちによるミュージカル公演を南米で実施しました。南米には日本からの移民農家がたくさんいます。南米の農業支援と岐阜県の食料自給率改善のために立ち上げた企業の代表として、現地の皆様に何か日本らしいものを届けたいという思いからおこなったことです。これら全てにつながりがないように見えますが、経営や商品政策を考える上で大切なのは最上位にある人生観です。私は、そこに「長所に三重マル」があります。人間関係がスムーズであるのは、この言葉のおかげなのです。



株式会社サラダコスモ
代表取締役社長

中田 智洋

中田 智洋(なかだ ともひろ)氏 / 昭和25年岐阜県生まれ。駒澤大学経済学部卒業後、家業を継ぎラムネ製造業からもやし生産業へ転換。昭和55年ナカダ産業(株)設立。平成2年社名をサラダコスモに変更し、代表取締役社長に就任。緊急時に備えて海外で大豆の生産に取り組む(株)ギアリンクスの社長も務める。

人が真に使いやすい“ものづくりと空間デザイン”をおこなう専門家具メーカー。

親が子を思う気持ちで農業に取り組み、地域活性化にも貢献する発芽野菜メーカー。

未来と世界を見据えながら、自らの信念とともに事業に取り組み続ける

企業経営者のおふたりにお話を伺いました。

美術館は、芸術との出会いの場です。

絵画や工芸品の美に触れ、

秘められたストーリーに向き合うひとときは、

日常に新鮮な喜びをもたらしてくれるでしょう。

今回は、茶道具に特化した

コレクションを誇る昭和美術館で、

茶の湯の世界に魅せられた人びとの

物語と出会いました。

茶席に用いられる道具とし

ての意匠を備えるだけでなく、

茶人たちの美意識や所有者

者の人生を象徴する伝世の茶

道具。奥が深いゆえに難しいイ

メージもあるが、昭和美術館は

茶道具鑑賞の入門編としても

おすすめだ。茶道具の多面的

な魅力をわかりやすく伝える

企画展示が、私たちが茶の湯の

世界へといざなってくれる。

昭和美術館の収蔵品約

800点のうち、実に8割が

茶道に関連する品である。茶

道具に限らず、書画の多くも

茶事に関わりの深いものが揃

う。なかでも「源家長筆熊野懐

紙」「宇多院歌合」「永久四年

れている。

コレクションは、年3回ほど

のクールでおこなわれる企画

展示で、テーマにあわせてセレ

クトされた数十点が公開され

る。選りすぐりの名品と出会

えるのは、主に本館1階の展示

室だ。風格ある茶入や茶碗に

添えられたキャプションには、

来歴や鑑賞ポイントが丁寧に

綴られている。

これらのコレクションは、岐阜

県出身の実業家で、米相場で財

を成した後藤安太郎と、その

長男であり、日本車輛の社長な

どの重職を歴任した後藤幸三

の二代にわたって蒐集された。

多くは、「売立て」によって入手

したものである。大名家や華族

SCENE
4
昭和
美術館



美術館めぐり



期にかけて大きく世の中が変化した時代に相次いでおこなわれた。それにより、多くの名品が実業家や政界人の「数寄者」と呼ばれる趣味人の手に渡ることとなる。もともとは対や揃いであったものが、複数の蒐集家に落札されて分散することも珍しくなかったという。今回訪れた展示でも、一度は離ればなれになった中興名物の茶入「伊予簾」と、本来それに添う品である小堀遠州の書、「いよすだれの歌 色紙」が後藤家で再会した逸話がピックアップされていた。この再会は、日本のビール王と呼ばれた実業家、馬越恭平の親族のはからいによって実現したとある。実は、こうした来歴の物語には名士たちの名がいくつも登場する。文化の庇護者でもあった経済人の横顔を知るとも、茶道具鑑賞のひとつの楽しみ方ではないだろうか。

コレクションとじっくり向き合った後は、本館奥の扉を出て、総面積2,200坪の昭和美術館が誇る庭園を散策してみよう。露地の先に、ふたつの茶室が佇んでいる。ひとつは、「捨駕籠の席」を有する愛知県指定文化財「南山寿荘」である。もとの主は尾張藩の家老であり、裏千家11代家元玄々斎の実兄、渡辺規綱。江戸時代に現在の名古屋市の堀川端に建てられた邸宅で、川の流れを望むように茶室を設けたことから捨じた形状になった。昭和10年に移築された際には、その趣を再現するため、堀川を模して池をしつらえ、水辺を見下ろすその風情までも再現した。もうひとつの茶室、十四山村(弥富市に編入合併)から移築された「有合庵」ともに、在りし日の茶席の趣を私たちに伝えてくれる。

「捨駕籠の席」は予約制で内部の見学ができ、南山寿荘や有合庵の一部は有料で茶事に利用することもできる。気軽にお茶に親しみたい方には、季節によって茶室にておこなわれる呈茶席や茶道に関する各種講座がおすすめだ。激動の時代に「数寄者」として多くの茶道具を蒐集した財界人、実業家の人生を垣間見られる茶道具の鑑賞とあわせて、日本が誇る茶の湯文化に親しんでみてはいかがだろうか。



館長 柳澤幸輝さん
名古屋の中心地では珍しい緑あふれる庭園で、ゆったりとしたひとときを過ごしながら、お茶の文化に親しんでいただければ幸いです。

開館35周年
昭和美術館コレクション そのものがたり
～2013年12月8日(日)まで(火曜日定休)
昭和美術館の収蔵品がこれまでに歩んできた歴史をさかのぼり、そこから見えてくる時代の流れや所有者の運命などのドラマを紹介します。



昭和美術館
〒466-0837
愛知県名古屋市昭和区汐見町4-1
TEL:052-832-5851
<http://www.spice.or.jp/~shouwa-museum/>



企業経営講演会

Report

第19回企業経営講演会

2012年11月14日(水)開催



〈演題〉 内側から眺めた サムスン半導体

東芝で半導体の技術開発に携わり、東芝グループで要職を歴任。その後、サムスン電子のメモリ事業部フラッシュ開発室顧問として、韓国

を代表する企業を内側から眺めてきた宮本氏。「変わることが常に良いこと」という社風のもと、変化が激しい半導体開発現場での体験を、

日本の開発現場との違いを交えながらお話しいただきました。なかでも繰り返し強調されていたのが、トップダウンの徹底。サムスンでは昇進するため、上司の意に添う行動をするとのこと。「仕事の判断・意思決定はとて早く効率的。強化部門へダイナミック



〈講師〉
みやもと じゅんいち
宮本 順一氏
中部大学特命教授

な人事異動をおこない、優秀な人材の獲得にはリクルート部隊が世界中を探し回り、組織長が指揮をとりやすい組織編成をおこなう。予算の使い方にも柔軟性がある。本場のグローバル化とは、世界企業から優秀な人材を獲得し、好待遇で迎えるなど、お金をかけてでも行うことではないのか」と指摘されました。また、実績評価から熾烈な実績獲得競争が生まれ、ライバルに負けると退職する韓国人のプライドの高さも相まって、敗者は自ら去っていくサムスン流とも言われる厳しい会社の一面も紹

介。さらに、開発手法については、「競合会社をベンチマーキングし、新技術に対していち早く追従をする一方で、マーケットを創造した経験がないため、売上・利益では世界屈指であるが、自社開発技術に自信がない実情がある」と説明されました。また、日本と韓国の企業を比較し、「日本のように数年で変わるサラリーマン社長に、器の大きな判断とリーダーシップが発揮できるのか。そして、団体活動に強い、和の国日本」を技術開発現場で生かしていくことができないものか」と提言。最後に、「果たして、サムスンのように変わることに常がいいことだと考えるのだろうか」と疑問を投げかけ、講演を締め括りました。

日本から見た世界、世界から見た日本。

ビジネスをグローバル視点で捉え、世界の動向を把握することで、

日本企業がこれから直面する課題と展望が導き出されます。

知識と経験に裏打ちされた講演に、参加者は企業経営の光明をつかんでいました。

第20回企業経営講演会

2013年7月24日(水)開催



〈演題〉
シェールガス革命は
日本を救うのか

NHK解説委員としてエネルギー・地球温暖化問題、グローバルマクロ経済、アジア・新興国経済を担当する嶋津氏。シェールガス革命の実態

と世界情勢、日本への影響についてお話いただきました。はじめに、アメリカが、従来

の採掘技術を開発し、生産を始めたことでシェールガス革命といわれるようになった経緯を説明。「この革命は、なによりも量の革命。天然ガス資源量倍増により、地球上の天然エネルギー資源が枯渇するといった議論に終止符を打ちました。将来的には、



〈講師〉
しまづ はちなり
嶋津 八生氏
NHK解説委員

石油・ガスの低価格化が期待されています」。次に、世界へ与える影響については、「アメリカのシェールガス革命は、エネルギー資源国からの天然ガス取引の流れを大きく変え、エネルギー価格のみならず、国家戦略にまで大きな影響を与えています。特に、ロシアのエネルギービジネスにおける困惑は顕著です」と、シェールガス革命が各国にもたらす功罪について触れました。日本については、大きな恩恵を受けることを指摘。「福島原発事故以降、発電を中東の高価な天然ガスに頼っており、国際エネルギー

機関(IEA)の予測では、2035年までに日本の電気料金は世界一高くなります。日本の産業・経済界に与える影響は甚大です。しかし、アメリカの安いシェールガスを購入できれば、このような予測が解消されます」と述べる一方で、期待が高すぎるとも懸念。最後に、「シェール革命は中長期的にエネルギーにおける中東依存の軽減効果を期待できますが、中東地域の非常に不安定な情勢を見ている限り、日本はエネルギーの多様な選択肢を失うべきではありません。今後、中国などの国々からはらむエネルギーに関する不確定要因の動向次第では、シェールガスを取り巻く状況は一変する可能性があります」と指摘し、今後の動向を注視する必要性を訴求されました。

人は喫茶店で 何をしているか



喫茶店はコーヒーを飲みに行くだけのところ、であろうか。風俗学の多田道太郎さんがその昔、若い人から「コーヒーは太平洋戦争以前からあったの?」と聞かれ、びっくりしたと書いている。ちょうど、アメリカからインスタント・コーヒーが移入された1960年代頃の話で、明治前期の珈琲茶館を若者は知らないのである。コーヒーが西洋文明のシンボルだった時代を知らないのだ(カットは福沢諭吉が慶応3年に書いた『西洋衣食住』にあるチーカップ、ソーレルの図)。

インスタントのコーヒーが日常生活に入ってから、すでに50年経った。喫茶店とカフェのちがいが知らない。否、若者に限らずふうの大人だつてわからないだろう。カフェではなくてカフェと呼んで流行したの

暮らしのエッセイ ⑦

喫茶空間と

現代の風俗

岡本信也

text by Shinya Okamoto

は大正期から昭和前期、都会を中心に出現したのだから、その体験者は今では90〜100才に達するだろう。

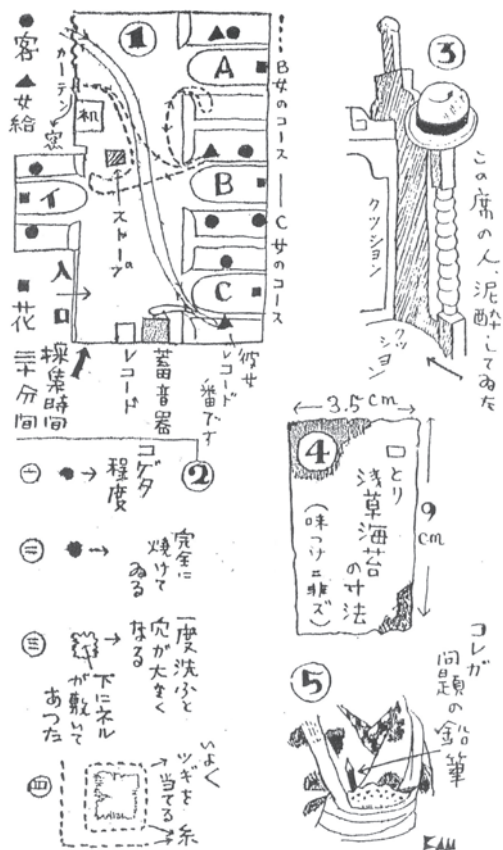
大阪で書かれた『カフェ考現学』村嶋歸之著(1931年刊)によれば当時の流行風俗は映画・ジャズ・ダンスホール・レヴュガアル・ネオンサイン・マネキン・イト(性的魅力がある人)……などが、大阪の享楽街に現われ、カフェもこうした風俗の真ただ中であつた。「カフェの女給さん」とは、そういう店でコーヒーに限らずビールや洋酒など、アルコール類をサービス(給仕)する女性たちであつた。この女性たちのサービスがエロティックで過度すぎるとされ、後年、風俗規則の条令が出る。コーヒーなどを喫茶する店と、アルコール類のサービスをするカフェ、バーと

区別されることとなる。くわしい事情は同書(2004年柏書房で復刻されたを)らん頂きたい。

この条令にさきがけて、1929年4月に名古屋では「白色のエプロ

ン」を女給に着せるなど、風紀上の改善をしたという。図Aは名古屋のカフェで観察したもの。ボックス式のテーブルでエプロン姿の女給さんがサービスをしている。規制条令後のカフェの寸景である。

現在、街の喫茶店は大勢の人が集まり、にぎやかであるが、戦後の日本は実にさまざまな喫茶店が出現し、消めつて行つた。たとえば、ジャズ喫茶・シャンソン喫茶・名曲喫茶・うたごえ喫茶・民芸喫茶・山小屋喫茶・キャンドル喫茶・写真喫茶・深夜喫茶・同伴喫茶・ダンス喫茶・マンボ喫茶・アラサロ喫茶・ビル喫茶(ビルまるごと各



図A 「考現学から覗いた・春の採集帖」1932年7月、名古屋新聞から。図中①はカフェ内のボックスでの女給さんの動線。⑤着物にエプロン、帯に注文書きする鉛筆をはさむのが女給仲間ではやった(作図・亀山巖)。

図B オープンカフェが流行。窓やドアを開け放し、道端に椅子を出して
コーヒーを飲ませる喫茶店(名古屋市中区で作図・岡本靖子)



1988年・オープンカフェの登場

種喫茶店の集合だったらしい)：キツサ、キツサ、キツサである。と堀田善衛さんが『現代怪談集』(1958年刊)の昭和33年当時の中で書いている。私も見覚えがあるが、同伴喫茶では男女カップル(アベックと呼ぶ)で2人用の椅子に腰かけ、コーヒーを飲むというもの。戦後のアメリカ式民主主義、自由恋愛の風潮の中で登場した。近頃の婚活みたいなものかな。うたごえ喫茶は歌好きな仲間同士が合唱する：カラオケ喫茶の先駆けみたいなものですね。さまざま欲望を掻き立てるようなキツサ空間が仕組まれて行ったのである。

1988年にはオープンカフェが出現する。ウエーター(給仕人)がなく、セルフサービスの喫茶店で、コーヒーのおつまみ(ピーナッツなど)もなく、旧来の喫茶店の半額くらいな値段で売る。天気の良い日は窓やドアを開け放つて、道端にテーブルと椅子を置く喫茶店である(図B)。シンプルで解放感あふれる店が街角にでき、大ブームとなった。

あれから25年、オープンカフェは今も健在であるが、旧来の喫茶店も姿を変え、にぎやかである。特徴的はモーニングタイムの人混み。平日の午前中からコーヒーやパンを食べながら、雑談する人びと。コーヒー杯を注文して延々としゃべっている人がいたり、週刊誌や新聞、ケータイやスマホに熱中する人たち。高齢者や主婦ばかりではない。平日の朝から仕事をしているはずの人びとがいる。モーニングタイムは老人の目覚ましのみではないのである。

このようなキツサ空間をながめていると、二つの型がある。(図C)ひとつは2人以上、複数の客がいるテーブル。仕事の話や職場の愚痴をしゃべる人、スーパーや買い物の値段を話す主婦、マスコミ情報をタネにしておしゃべりする人、喰い物、株の値上り、旅行、家族の悩み、病院の薬：雑多な話が飛び交い、店内が騒然となる。さらに店員の

「いらつしゃいませー」の怒声? 茶碗や盆、テーブルがぶつかる物音で、ますます騒々しくなる。

もうひとつの型は、1人であるテーブル。新聞を読んだり、ケータイ、ゲームを見たり、タバコを吸ったり、中には化粧したり、髪を梳かしたりする女性、ノートにメモ、パソコンを見たりする男性がいる。この静寂スタイルは耳障りではないけれども、人はさまざまな行動をし、ジッとすることができない動物である。観察する私自身が疲れてしまう。

英文学の吉田健一さんが、パリのカフェについて語っている。カフェは名目はコーヒーを売る店であるが、何もしないでぶらぶらするための場所である。『甘酸っぱい味』初出(1957年)。この話は昭和32年だから現在のフランスのカフェは、何もしないでぶらぶらできないかもしれない。それに



2012年・名古屋駅地下街の喫茶店内で採集

図C 談笑する4人の女性。片隅でケータイを見ている1人の男性(名古屋駅で作図・岡本靖子)

研究室訪問

NO.1 植物生理学・園芸生理学

花の開花を
遺伝子レベルで解析し、
心豊かな生活環境をつくる。

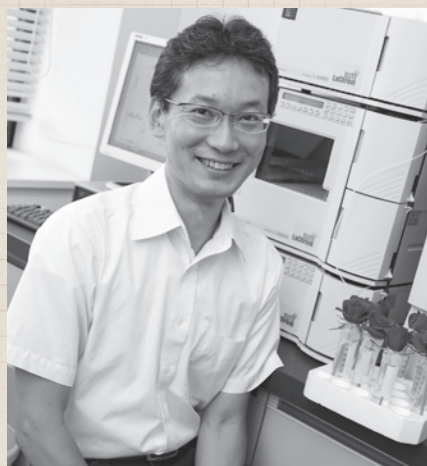
応用生物学部 環境生物科学科

やまだ くにお

山田 邦夫 准教授

[専門分野] 花き園芸学、植物生理学

[研究テーマ] 観賞花きの品質向上を目指した生理学のおよび分子生物学的研究



花の開花速度と 大きさをコントロール。

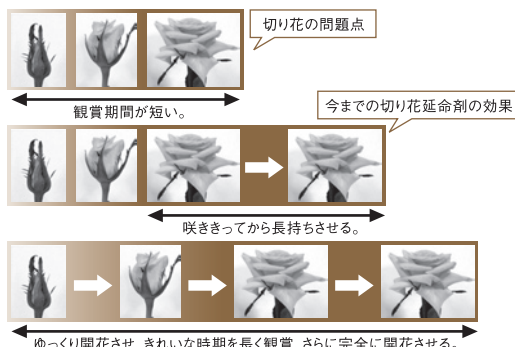
切り花を買うと、抗菌剤や糖が入った延命剤を渡してくれる花屋さんが増えてきました。この延命剤は咲いた花を長持ちさせるためのものです。山田准教授は、つぼみの状態から咲いていく花の美しさに着目。切り花の観賞期間を長くする技術開発、特にバラの花弁成長制御による開花のコントロールを目指して、遺伝子レベルの研究を進めています。これまでの研究で、開花メカニズムには、細胞壁の緩みと、糖の蓄積が重要であることが明らかになりました。「開花速度を調整する目的で、細胞壁の緩みに関する遺伝子を研究したところ、ある遺伝子とタンパク質の働きが確認できました。また、花の大きさには糖代謝が影響しており、糖代謝の活発化に、植物ホルモン『オーキシシン』が作用すること

が分かりました」。花の開花速度や大きさのコントロールが可能になれば、冠婚葬祭でのディスプレイ用として使う花などへも応用価値がありそうです。

花だからこそできる 役割に期待。

世界各地で研究成果と絡めてつぼみの状態から花が咲いてゆく過程の美しさの話をすると、日本企業では興味を示してもらえないのに対し、海外企業ではいい反応がありません。いかに大きく花が咲くかに興味がある海外の方から、理解を得られることが少ないのだそうです。「国民性の違いを感じます。日本人ならではの美への感性がありそうですね」。今後は既存の色・形・大きさに加え、花の「香り」を考慮しながら新品种を開発する研究を計画。「花は趣味の世界であり、食料や作物の研究に比べ重要性が低いと

■切り花の美しい観賞期間延命に取り組む研究



言われます。しかし、これからはより質の高い、心豊かな生活が求められる、家庭にも職場にも花で飾られた環境が大切になってくるはずですよ」と、花だからこそできる役割を大切にしている山田准教授。花を使った環境浄化にも力を入れ、汚染された土壌から、重金属などを花の根から吸収して浄化する研究も予定しており、社会だけでなく地球環境にも貢献することが期待されそうです。

大学院6研究科15専攻と7学部29学科の総合大学として知的資産を集積する中部大学。

今号も、今後社会への貢献が期待される個性的な研究活動をご紹介します。

産官学連携や事業化等にぜひご活用ください。

NO.2 燃焼工学

小さな炎、
“マイクロフレーム”を活用し、
エネルギーを有効利用する。

工学部 機械工学科
ひらまわ たろう

平沢 太郎 准教授

【専門分野】燃焼工学、反応性流体力学

【研究テーマ】マイクロフレームのアレイ化やクラスタ化による新燃焼方式の研究および開発



炎を小さくすることで、
燃焼を制御する。

注射針ほどの極細パイプの先にある、半透明の青白く丸い光の粒、それがマイクロフレームです。「スケールが小さくなると、普段目にするこののない現象が見られるマイクロフレームに魅了されています」。そう、にこやかに語る平沢准教授。マイクロフレームは発熱密度や制御性が高く、高効率でクリーンな燃焼も可能。しかし当初は、実用的な応用先が見つかっていませんでした。既存の加熱ニーズとマイクロフレームの加熱能力がかけ離れていたのが、そもそもの原因ですが、そのギャップを埋めたのが、マイクロフレームを沢山並べたマイクロフレームアレイです。「はじめは軽い気持ちでバーナーを並べてみました。後から考えれば当たり前ですが見事に失敗。しかし、予想していないことが起きるのはこれまでの燃焼研究ではな

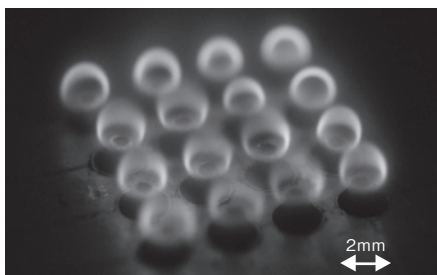
い経験でした」。予想外の結果は今も時々起こり、その度マイクロフレームの期待を新たにさせられるのだとか。様々な応用製品に向け、マイクロフレームアレイについて企業との共同研究が進行中です。

スケールによる制御が、
燃焼利用の
可能性を広げる。

マイクロフレームのアレイ化は、マイクロフレームの応用、燃焼利用の範囲を広げる入口で、まだその先がありそうです。「マイクロフレームが燃焼の可能性を広げるポイントは、小スケールと固体壁面にあると考えています」。マイクロフレームの温度が制御できるのも、これらのポイントによるものとのこと。「燃焼は、発熱と放熱のバランスで維持されますが、炎が小さくなる」とこのバランスが崩れます。今までとは違うところでバランスをと

れば、従来にはない燃焼ができます。そうすることで燃焼の可能性が広がっていきます」。つまり、燃焼自体を目的に合った方向に変えようということ。そういった制御の範囲を広げることで、例えば、「直接火炎型燃料電池(DFFC)」などの応用も可能に。「スケールによって最適な発電方法は違います。手のひらサイズぐらいのスケールで考えると、DFFCは発電装置として期待できます」。これからの研究開発次第で、燃焼を利用した新たな発電装置の実現も夢ではなさそうです。

■小さな丸い青白い炎が並ぶ
マイクロフレームアレイ



マイクロフレームアレイの一例。
これまでで一番多いものでは600個を超える。

NO.3 理学療法学

臨床やスポーツの
現場で得たデータを、
患者やスポーツ選手に還元する。

生命健康科学部 理学療法学科

みやした こうじ
宮下 浩二 准教授

【専門分野】理学療法学、スポーツ外傷学、バイオメカニクス

【研究テーマ】スポーツによって生じる外傷(障害)とスポーツ動作の関係について
バイオメカニクスの視点からの分析



施術現場で感じる、 理学療法分野発展の 可能性。

人体の構造や運動を力学的に探究し、結果を分析・応用する「バイオメカニクス研究」、フィールド活動からデータ集積したものをまとめる「フィールド研究」。これら2つのスタンスで研究に取り組む宮下准教授は、理学療法士として患者やスポーツ選手に直接役立つ、現場重視の研究活動をしています。また、健康増進に向けた取り組みとして市民講座で講師を務めるなど、人々の健康に対する意識向上にも努めています。「肩こり・腰痛・膝の痛みは、歩き方や姿勢などの日常動作に起因したものが多く、動作分析からも関係性は明らかです。治療のポイントは日常動作の改善ですが、簡単に分析・チェックできる機器・機材が少ないことから動作と症状の関係性の

追究が難しく、この分野の発展を妨げている一つの要因となっています」。理学療法は動作を分析することが非常に重要で、研究者の多くは臨床での経験から重要なことを知りながらも、学会で発表できるほどの充実した動作データを簡易に得ることが難しい現状にあります。臨床においても患者データのストックが難しく、導入コストや分析に時間がかかることもあり、安価で簡易に分析・チェックできる機器・機材が求められています。

研究者たちが 待望する計測機器。

近年、血圧計が普及し、家庭でも簡単に計測できるようになりました。血圧のように日常生活で筋肉や関節の状態をセルフチェックができる機器があれば、予防意識が高まるだけでなく、理学療法分野の進展に

も大きく貢献します。「最近では、メーカーも業界・分野の垣根を越えて多種多様な機器を開発・製造しています。身体・健康を簡単に管理できる、あったらいいなと思う機器についてのアイデアがたくさんありますので、開発・製造を検討していただけの企業とお話しするチャンスがあればいいですね」。現場での収集データを、研究データとして簡単に落とし込める機器やシステムの普及が、理学療法分野の進歩のカギと言えるかもしれません。

■キャンパス内での理学療法実施



理学療法の施術により、各運動部の学生をサポートしている。



中部大学研究支援センターでは、企業の皆様のニーズに応じて、関連分野の研究者を紹介しています。共同研究や委託研究など、研究支援の相談窓口としてお気軽にご相談ください。

研究支援センター

0568-51-4852 (直通)

幸友会事務局を介したご相談も承っております。

[幸友会事務局] 0568-51-4740 (直通)

NO.4 森林経営学

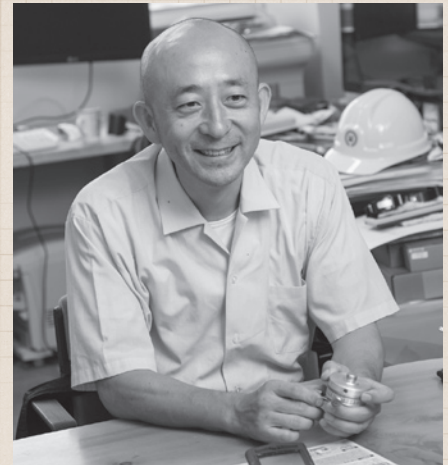
日本の林業を洗い直し、
最適な林業経営環境をつくる。

中部高等学術研究所 国際GISセンター

竹島 喜芳 准教授

[専門分野] 森林計画、林業、リモートセンシング

[研究テーマ] 持続的森林資源管理のための森林情報の収集と公開



持続可能な森林経営の
カタチを模索する。

『日本林業を今一度洗濯いたし申し候』。自らの研究使命と坂本龍馬の名言をなぞらえる竹島准教授は、林業の川上(供給)と川下(需要)に焦点を当てた研究をしています。川上の研究は、森林の場所、量、その所有者が誰であるかを把握し森の在庫データベースを作ること。川下の研究は、誰がどんな木質製品を求めているかを把握し、森の在庫をどう売るか戦略立案です。

在庫把握が
森林経営全ての基礎。

日本の森林面積は国土の67%。しかし、それは林業統計データからそうなっているだけです。伐採跡地であろうと将来林業経営を行う予定なら、そこは森林としてカウントされます。一方、公園のような緑地でも林業経営を行うつもりがない

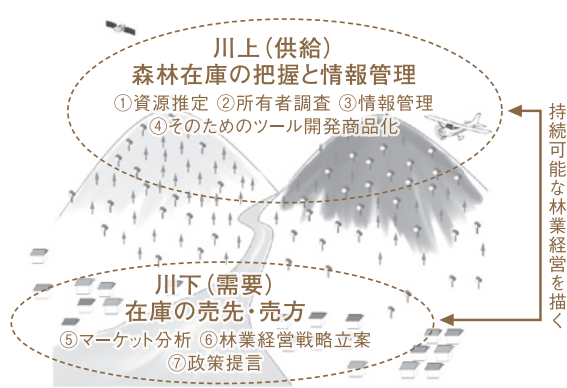
なら、森が成立していても森林とはカウントされません。現状は、林業統計データと実状は大きくかけはなれています。「地道な現地調査と最新のリモートセンシングの技術を使い、ある市町村で調べたところ、木材として使える森林資源量は統計の2〜3倍でした」と竹島准教授は指摘します。加えて、日本の森林の60%が民有地で、最近では相続した山林の場所が判らない所有者が多くなっていることに言及。「これ

では潤沢な森林在庫があつても、手のつけようがありません」。そこでGISやGPSなどの最新技術を活用し、森林所有者を把握する仕組みづくりも行い、資源量と所有者の両面から森の在庫データベースを作ろうとしています。

着想とバイタリティから
日本の林業の夜明けを
実現する。

徹底した現場主義を貫き、林業当事者と同じ目線で業界を眺

めてきた竹島准教授は、「着想とバイタリティ、そして継続力が自らの特徴」と語ります。その一方で当事者から二歩退いた目線で業界を俯瞰。現場を見つめ、現実と理想のギャップを埋めるゴールを設定し、それを最短距離で実現するための手段を考えています。そのために必要な装置やソフトウェア、戦略などのアイデアが湯水のように湧き、それらを粘り強くカタチにした商品開発やコンサルティンクを企業などで行い二歩ずつ日本林業を洗濯しています。



おとなの健康塾 4



「集うこと」のすすめ

中部大学 生命健康科学部 作業療法学科 教授 ^{むかい} ^{ふみお} 向文緒

「集うこと」のすすめ

私が専門としている「精神科作業療法」では、集団療法を多く取り入れていきます。発病直後の少しの環境刺激でさえも非常に負担になってしまいう時期や個別の作業能力の訓練を目的とする場合を除けば、「集うこと」がより大きな治療効果をもたらしてくれるからです。

うつ病で休職中の方々の集団療法では、上司や部下との接し方や組織での動き方などセラピストの私がアドバイスするよりずっと腑に落ちる助言が患者間でなされたりします。何より、同じ病を持つ仲間としてお互いを思いやり、辛さを表現し、受け合え合うことのできる場の雰囲気、彼らを回復へと向かわせ力づけてくれます。ある患者さんは治療を振り

返り「自分がいかに仕事だけに捉われていたかに気がついた。故郷から離れて就職したので、学生時代の仲間との交流も途絶えてしまい、気の置けない関係の人と過ごす時間を失っていた。ここで仕事の利害関係のない人と過ごす時間が貴重だった。今年はずいぶん忙しくてもなんとか時間を作って同窓会に出席してみようと思う。」と語ってくれました。

人間は、さまざまな「人の集まり」のなかで育ち、自分を作り上げ、支え合い生きて行く社会的存在です。人々の間で病むけれど、人々の間で癒されたいといつても過言ではないと思います。世の中にはさまざまな健康法が溢れており、個々人で取り組めるものも多いのですが、それらに「集うこと」を加えると精神的健康の増進や人生

の質の向上にもつながり、その効果が倍増するのではないのでしょうか。

「思い出」の価値

働き盛りの中年世代は、仕事関係以外の「人の集まり」から遠ざかりがちです。しかし、目を閉じて顧みれば、思い出の中に自分を育て支えてくれた「人の集まり」がいくつも思い浮かぶはずです。幼少期の日々を彩った幼馴染の集まりや親戚の集まり、学生時代の同窓生の集まり、部活やサークル仲間の集まり。そして、それら「人の集まり」での「思い出」は、自分のところを穏やかにしてくれるものが少なくないはずです。

米国で精神疾患の回復者の生活調査から生まれたWRAP (Wellness



大学では二十歳前後の青年を相手に日々格闘(?)している私ですが、週に半日ずつは、精神科病院と福祉施設で障がいをもつ「おとな」の方々のリハビリテーションをお手伝いしています。本稿では、そんな臨床活動の経験から「おとなの健康」について思うことを述べさせていただこうと思います。

Recovery Action Plan

元気回復行動プラン)という自己管理法があります。その方法の第一段階では、「元気でいるためのツールボックス」という良い習慣のリストを作るのですが、その例として「古い懐かしい写真やスクラップ帳、アルバムなどをみる」といった運動習慣やバランスのとれた食事などと並んで挙げられています。

認知症患者の治療では懐かしい品物や写真を手掛かりに思い出話をする「回想法」が広く用いられ、症状軽減や精神安定に効果を発揮しています。

自分の心を和ませたり、励ましたりしてくれる思い出の写真や言葉を手帳やスマホに入れて持ち歩いている人は少なくないと思います。が、未だの方は是非。

「居場所創り、思い出創り」のすすめ

障害者の社会復帰を考える時、「働く場」を得ること以上に大切なのが、「居場所」を得ることです。違いを超えて気持ち良く集える、居心地の良い場、「居場所」が地域に暮らす障害者の健康を維持し、再発を予防してくれる様子をたくさん見てきました。

一人暮らしの人にとってはもとより、家族と暮らす人にとつても、「仕事」でも「家庭」でもない「居場所」が人を社会に生きる存在にしてくれます。

年を重ねて行くと、親しい友人との別れや、居場所を失うことが避けられませんが、生きている限り新たな人との出会いや再会もあるものです。そんな出会いを

大切にして、集い、居心地の良い場を創っていくこと、今を大切に生きることが後になって自分にとって意味のある思い出になり、将来の自分を支えてくれるのではないのでしょうか。

おわりに

「健康とは病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも全て満たされた状態にあることを言います。」(世界保健機関憲章前文、日本WHO協会訳) 成すことができない状態になった時、それでもそこに居ること、在ることに意味を見いだせる成熟した社会を身近なところから創っていくことが、健康で居続ける秘訣かもしれません。



私たちが普段目にするニュースは、現実を切りとった断片に過ぎません。

本来、さまざまな出来事の現場には、報道で伝えられる以上の情報があり、人びとの思惑が交錯しているはずです。

そこで今回は、新聞報道の第一線から見た国際社会と日本の今について、お話を伺いました。



今回のテーマ

新聞が教えてくれない 国際政治の最前線。

今回お話を伺った方

中部大学 全学共通教育部
全学総合教育科

にしかわ めぐみ
西川 恵 教授

東京外国語大学(中国語学科)を卒業。毎日新聞社に入り、テヘラン、パリ、ローマの特派員を計12年。外信部長をへて平成14年から専門編集委員として毎週コラムを執筆しています。平成22年から中部大学の兼任教授となりましたが、国際政治のお堅い話だけでなくファッション論も得意。語らせると我ながら止まりません。



—新聞の海外特派員として 国際政治を担当されていたとか。

新聞社の外信部で33年、そのうち特派員を12年ほど務めました。現在も新聞社に所属しています。長年、国際政治の現場に接していて、外交とは突き詰めると人間的な営為であると考えるようになりました。たとえば、政治家たちは外交の舞台で各国の世論にプラスのイメージを与えるために、実に努力しています。中国を例にあげると、報道から見えてくるのは、社会主義、共産主義、官僚主義、木で鼻をくくったような態度ばかりです。しかし、中国国内にはさまざまな勢力があり、そこには人間同士の権力

闘争や葛藤があります。対日政策についても検討が重ねられているはず。実際に前首相の温家宝は、来日に際しては日本の人々にどうアピールするかパフォーマンスに工夫を凝らしていました。我々は、報道で語られることのない政治家の働きかけとその思惑をもっと知っていてもいい。ところが、新聞はそれを大きく伝えません。スペースが足りないから、そして、多くは当然の出来事として省略するからです。しかし、それでは受け手側もイメージできない。もっとメディアが伝えていかなくては、と実感しています。

—今年には東京オリンピック開催決定のニュースが駆け巡りました。

今回のオリンピック招致にあたって、時代は変わったと強く感じる出来事があります。8月末に、安倍首相が中東のバーレーン、クウェート、ジブチ、カタールの4カ国を訪問しました。このうち、バーレーン以外の3カ国は、IOC委員（国際オリンピック委員）がいる国です。日本政府がこれらの歴訪先を選んだのは、計算づくのことだ

と私は考えます。特に、クウェートのIOC委員は、キングメーカーといわれるほど影響力を持つ人物。安倍首相は、クウェートの国王に会って、「オリンピックでは東京をよろしく。IOC委員にも伝えてほしい」と頼んでいます。首長自らIOC委員を兼ねているカタール、そしてジブチでも同様に依頼しています。これらは、「オリンピックを政治に利用している」と非難されるので詳細は明らかにはしていません。ただ、今の日本の世論は、スポーツの政治利用に関して、意外に寛容になつていのではないのでしょうか。首相が働きかけをしなかったら、逆に非難されたかもしれません。4年前にも、アメリカのオバマ大統領やブラジルのルーラ大統領など、開催候補国の元首はオリンピック誘致に自ら動いていましたから。

—スポーツの政治利用に世論が寛容になった理由は、何でしょうか。

きっかけは、冷戦終結です。それまでは、スポーツの政治利用はしないという自制が働いていた気がします。ス

ポーツは純粹なもの、政治の手段にしたいいけない、と。それが、冷戦終結後は逆に、スポーツと政治は不可分なものであるという事実が受け入れられるようになったのです。思いあたる例のひとつは、ユーゴスラビアが解体する前におこなわれていた共和国間のサッカー試合。その頃、たとえばセルビアと共和国とクロアチア共和国が試合をすると、サポーターも衝突して乱闘になつていました。サッカーがユーゴスラビアに内在する矛盾や対立を先取りして示していたのです。また、ルーマニア革命でも、サッカーの勝利デモが不満を表明するきっかけとなり、暴動のうねりへと変わっていきました。これらの事柄から、政治とスポーツは切り離せないものだとわかります。この20年で、スポーツを政治に利用することは、ほとんど普通のことになりました。

—冷戦終結によって、私たちの価値観が変わったと考えられますね。

まさにそうですね。冷戦時代は、アメリカを中心とする資本主義社会とソ連を中心とする社会主義社会の対

立構造がまず前提にありました。スポーツを含む文化は、体制間競争の手段だったわけです。そのような時代、1980年代末頃までは、日本は西側諸国の模範生でした。戦争ですべてを失ったのに世界第二の経済大国に成長したのは、資本主義体制の優越性の証と見られていたのです。だからこそ、西側諸国の間で優遇されてきました。しかし、いまや日本は数ある国のひとつに過ぎません。それまで日本を

「井の中の蛙」の論理では、世界を説得できない。

Book Review

西川恵先生の

私の一冊



「歩く影たち」

開高 健
新潮社

この本を手にとったのは1982年と覚えているのは、初めて特派員となったテヘランに持参したからだ。新聞社に勤めて11年目、35歳だった。著者の開高健は70年代初め、いまはなき南ベトナムの首都サイゴン(いまのホーチミン市)で、日本の雑誌や新聞にベトナム戦争ルポを書いていた。本著はサイゴンの腐臭と弛緩の空気のなかに息づく人間を描いた珠玉の短編集である。戦場から戻ると生気を失い、戦場に戻りたがる米兵。魚釣りに情熱を傾ける貪欲で好色で美食家の華僑の金持ち。夜ごと、肋骨が浮き出た鳥かごのような胸をさらけ出す売春婦…。善悪を越えた人間の本质とあるがままが描かれていた。テヘランでの2年、イラン・イラク戦争の取材で戦場を駆け回り、多くの知識人にインタビューした。念頭にあったのは「短編に迫るような記事を書きたい」という思いで、安易な善悪論は書かないと心に誓った。ジャーナリストとしての出発点を作ってくれた本である。

庇護していたアメリカも日本がアメリカを追い抜くかに見えた冷戦終結前後には、日本を競争相手として見るようになりました。体制の論理を守ることで第一だった時代から、国のアイデンティティで競う時代が変わったのです。つまり、政治よりも文化が重要になったのです。今回、オリンピックでクロージアアップされた「おもてなし」は、日本が誇る文化ですよ。

—そこまでニュースから読み解くことは難しいように思います。

単に新聞を読んでいるだけでは難

しいでしょうね。補足として本や雑誌から情報を仕入れることが必要です。また、これはよく学生にアドバイスしていることですが、新聞は継続して読むこと。単発で買って読んでも面白くありません。特に、政治、経済、外信、国際などの硬派といわれるニュースは、すべて過去から未来へとつながっているからです。また、新聞には、編集という「ろ過」がかけられており、各紙のメガネを通した世界を私たちに伝えていきます。だから、3カ月ごとに購読紙を変えてみると面白い。記事を多面的に見る視点も養えます。ただ、それでも日本だけについては「井の中の蛙」になりがちです。TPPの問題

は、日本の国内論理だけでは絶対に理解できません。国際社会で日本がどのような位置にあるかを見据えれば、おのずと答えは見えてくるはず。そのためにも、年に一度は外国へ出かけることをお勧めします。外国から日本を見る。外国人と日本について話す。つまり、日本を相対化することです。1980年代、日本は、「資本主義の果实だけを手に入れて、責任を果たしていない」と、欧米に非難されました。我々が国民の血を流して平和を守っているおかげで、世界第二の経済大国になったのではないかと。それでも、日本政府は「日本には憲法があり、歴史の経緯もあって、軍隊は出せ

ません」と弁明していました。湾岸戦争時も同様で、政治家は国際世論と国内世論との板挟み状態になりました。私はそうした国際社会と日本国内の意識の落差をずっと見てきたので、その溝の深さをひしひしと感じます。日本は溝を埋める努力をしなくてはならない。そういう点からも、オリンピックはひとつの転機になると感じています。

幸友会 会員企業を訪ねて

会員企業紹介

File
01

会員企業の魅力とともに、中部大学卒業生を紹介する「幸友会会員企業を訪ねて」。
現在活躍中のOBに、会社の特徴とご自身の仕事への想いを語っていただきました。

株式会社林スプリング製作所

平田工場(岐阜県海津市平田町)



[本社住所]〒456-0005 名古屋市熱田区池内町7番7号
[電話]052-871-6871
[代表取締役社長]林 真弘
[設立]1950年(創業:1921年)

<http://www.hayashi-spring.com>

事業内容 自動車部品、繊維機部品、住宅関連部品、各種スプリング製造、線材曲げ加工、パイプ曲げ加工、プレス加工、溶接、小組付
創業の精神 つねに前進せよ



ほらだ たかひろ
原田 尊宏 さん

株式会社林スプリング製作所
平田工場 副工場長
中部大学 工学部
機械工学科 1988年度卒業



自動車、モーター、機械に不可欠なスパイラルスプリング。

創業100周年までには、次なる海外進出を。

自動車のリクライニングシートなどに使われる「スパイラルスプリング」を生産する私たち林スプリング製作所は、今年で創業93年目を迎えるばね専門メーカーの老舗です。創業当初は、織機用部品をメインに生産していましたが、自動車の普及とともに自動車関連部品の生産へシフト。自社で設備仕様を考案・開発・製作し、独自の技術力を強みに成長してきました。「つねに前進せよ」という創業の精神のもと、ばね加工技術を応用した曲げ製品、線ばね、プレス製品といった自動車関連部品の量産。また「創造・挑戦・進化」を合言葉に、受注増と顧客ニーズに対応するべく、1990年に平田工場を建設し、24時間無人化の生産ラインを備えるなど、高効率・高品質の生産体制を実現しています。現在、メイン顧客である自動車メーカーの海外進出に追従して中国とタイに工場を建設し、今後は更なる海外展開も計画中です。

お客様の信頼のため、つねに前進、つねに改善。

私は生産現場を経験した後、現在まで品質業務を担当。顧客のクレーム対応、製品の不具合処理、不具合保証の管理などの窓口業務をメインにおこなっています。家でも携帯電話を肌身離さず持ち歩き、一報を受けたら社内情報共有させ、改善に努めています。現在は、副工場長として品質業務に加え、生産技術の責任者としても管理。社長の指針とする「決める」「守る」「続ける」「改める」を全部門で徹底に行い、よりよい製品の生産を目指しています。実際、作業者と責任者間のコミュニケーションを大切にしながら、二週間に一度は社長を含めた全部門が生産現場の点検をおこない、気付いた点を指摘し合うなど、改善に向けての取り組みを継続しています。将来的には、日本の技術を各海外拠点で標準化し、日本が指導的立場となつて、会社全体のレベルを引き上げていきたいと思っています。

アイコクアルファ株式会社



むらた しげたか
村田 成隆さん
 アイコクアルファ株式会社
 RH事業部 RAST
 シニアマネージャー
 中部大学 工学部
 機械工学科 1985年度卒業

【住所】〒495-8501 愛知県稲沢市祖父江町森上本郷十一、4番地1
 【電話】0587-97-1111 【取締役社長】樋田 克史 【設立】1943年

<http://www.aikoku.co.jp>

事業内容

CF事業部… 精密冷間鍛造により、自動車の等速ジョイント部品・トランスミッション部品・パワーステアリング用ピニオンシャフト・サンギヤの製造。

RH事業部… ラクラクハンド”人の手に追従するフレキシブルなハンドクレーン”の製造販売。

AP事業部… 同時5軸マシニングセンタにより、航空宇宙機体部品やエンジン部品、各種インペラーの切削加工。

MS事業部… 航空機や自動車業界など、製造業で使用するCAD/CAMシステム「CATIA」の販売・サポートをはじめ、NC関連ソフトウェアの開発・販売。

経営理念

会社は、そこで働く人のためにあるのであって、会社の利益のために働く人がいるわけではない。



ハンディーハンド

増力制御と軽量アームの採用で、形や大きさ、重さの違いを問わず、手作業と同じ感覚で腰へ負担のない作業が可能。



ラクラクハンド

モノを無重力の状態に保ち、微妙な位置合わせが容易で手に近い感覚で操作が可能。

昭和18年創業の弊社は、時代とともに事業も変遷をたどり、現在では自動車部品を製造するCF事業部、自社製品ラクラクハンドを製造・販売するRH事業部、航空機部品等の精密機械・加工品を製造するAP事業部、三次元CADを主体としたソフトウェアの販売をするMS事業部の4つの事業部から成り立っています。各事業部が独立採算であるため、どうしたら会社を支える柱となれるのかの生き残りを掛け二人ひとりが経営のパートナーとして仕事に励んでいます。30年以上前から入社を入団と呼び、仲間として一緒にやっていく社員を「チームの一員」として迎え入れ、一致団結して会社を支え合うことを強く意識してきました。そのため、リーマンショック時は大変厳しい状況でしたが、誰一人仲間を切り捨てることなく、従業員がワークシェアをすることで乗り越えました。このような仲間意識は、弊社の企業風土であり、誇りでもあります。

結束できるチーム力が、最高のものづくりを育む。

お客様と向き合って生まれる、世界を変えるものづくり。

重い荷物の移動が、誰でも楽にこなせる「ラクラクハンド」は、いかに人の負担を減らせるかにポイントを置いて開発した製品。オーダーメイドのため、常にお客様と向き合い、ご要望に答えられる発想力と創意工夫を心掛けています。自動車関連向け営業チーム約30名を率いる中で、頭で解決できなければ、現場へ行って解決するように指導しています。弊社の営業職は、お客様の課題解決の手段として自社製品を提案するカウンセリングセールスですから、私も含めた理系出身者が多く活躍しています。「手作業で困ったらアイコクへ」をキャッチフレーズにアピールし、お客様の顔を捉えた、三現主義（現場・現物・現実）の商売を実直に実践。過去に、私たちの製品が日本国内の自動車メーカーのドアの組み立て方法を一新させたことから、ラクラクハンドを通して日本ならびに世界の製造業のものづくりに寄与していきたいですね。

掲載企業大募集!

中部大学幸友会会報誌幸友Vol.17は2014年10月末日発行予定です。ただ今、次号の掲載企業を募集中。他にはない独自の技術を持つ会社、アピールしたい魅力のある会社を、紹介していきたいと考えています。「我こそは」という会員企業は、ぜひご応募ください。

お問い合わせ・お申し込み先

中部大学幸友会(中部大学渉外部内)

電話 (0568)51-4740(直通)

株式会社清水屋

File 03



はっとり ようすけ
服部 陽介さん
株式会社清水屋 犬山店
呉服売場担当
中部大学 経営情報学部
経営情報学科 2004年度卒業

[住所]〒486-8577 愛知県春日井市瑞穂通5-33

[電話]0568-81-6151

[代表取締役社長]清水 隆行

[設立]1938年

<http://www.shimizuya.co.jp>

事業内容

呉服、宝石、外商の販売/婦人服、紳士服、子供服等衣料品の販売/寝具、インテリア、家具、家電等住関連品の販売/アクセサリ、化粧品、靴、バッグ等服飾雑貨の販売/食品全般、日雑品等/写真館、介護用品の販売等

基本理念

すべての原点はお客様にあり



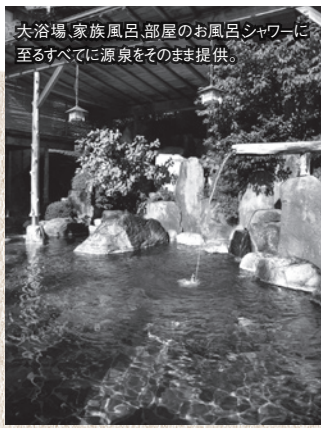
伝統の手技により、
艶やかに可愛く着こなせる振袖。

地域のお客様に寄り添い、愛され続ける企業を目指して。

中部大学がある春日井市に本店を置き、愛知県・岐阜県に6店舗を展開している総合小売業の弊社は、昭和13年に呉服商から創業し、今年で75周年を迎えました。これも地域の皆様方のおかげと大変感謝しています。消費の低迷や競合他社の進出、新業態の台頭など、小売業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。創業以来のストアコンセプト「お客様本位の店」を忠実に守り、地域の人々のライフスタイルや価値観を把握した品揃え、販売手法、サービスだけではなく、接客時のお客様とのコミュニケーションを非常に大切にしています。弊社では、昔から「感謝」「誠実」「忍耐」の3つの言葉を忘れず、接客・販売するよう心掛けてきました。お客様が満足のいくお買い物ができ、お礼の言葉をいただいた時が、我々社員にとって一番うれしい瞬間です。お客様のため、誠心誠意仕事に取り組んでいます。

できる限りを尽くし、地域で頼られる存在に。

入社以来、犬山店の呉服売場を担当して今年で9年目。呉服商から創業した清水屋だけあって、大きなプレッシャーとやりがいを感じています。呉服は本当に奥深い世界ですので、まだまだ知識不足を実感する日々です。呉服売場の主力商品は振袖。成人式のある1月に始まり4月までが販売商戦です。茶道や華道、舞踊などの稽古事をされている年齢層が比較的高いお客様が多いですが、最近では着付け教室に通う若い世代のお客様も増えていきます。着物を着る機会が少ない現代、店頭での接客・販売だけで商品が売れていくわけではないため、お客様のもとに訪問して販売促進する外商業務にも力を入れています。売上に直結することのない、お客様の日常生活のお手伝いをするのもありますが、清水屋を頼って来店していただくことに繋がればと考えています。常に頼られる地域密着型の清水屋として、更なる努力を積み重ねていきたいと思えます。



大浴場、家族風呂、部屋のお風呂シャワーに至るすべてに源泉をそのまま提供。



有形文化財に登録されている渡り廊下。窓一つとっても同じ規格のものは二つとない。



和風建築の粋を集めてつくられた「本館」。建物の形状が複雑なため、部屋ごとに見える庭の景色もさまざま。

東海エリアの名所をめぐる旅

幸遊見聞記 1

湯之島館

岐阜県
下呂市

贅を尽くした老舗旅館で、

飛騨の名工の技と

昭和浪漫を堪能する。

江戸時代より湯治場として栄えた、岐阜の下呂温泉。徳川

家康から四代の將軍まで仕えた儒学者・林羅山が、下呂を兵

庫の有馬、群馬の草津と並ぶ日本三名泉の一つに称したこと

から、その名は知られるようになった。しかし、源泉が飛騨川

流域にあったため、度重なる洪水により、湯壺や源泉が埋没

することもしばしば。また、湯温が一定しないために燃料費が

かさむなど、苦難の歴史が繰り返されていた。

時は流れ、旧国鉄高山本線の開通まであと3年に迫った

昭和2年。下呂の町は、長年の温泉開発に疲弊し、外部資本

の導入を求めていた。そこで当時、名古屋の実業家であった岩

田武七氏たけしちが、協力の手を差し

伸べ、私財を投入。下呂を一大リゾート地として開発するプ

ロジエクトを始めたのである。昭和4年に着工した工事は、

丸2年の期間を経て完工。そうして生まれたのが、今も当時の

姿をそのままに残し、下呂富士と称される湯之島山の腹

に佇む「湯之島館」だ。

「当時、日本に名所が又一つ」というキャッチフレーズが掲げ

られたこと、また総動員6万人、敷地面積5万坪、投資総額

は当時の金額で百万円。相当な大工事だったと推察できま

す」と語るのは、創業者武七氏の孫であり、現オーナーの岩田

栄七氏えいしち。「昭和5年といえば、日本の灯がすべて消えたといわ

れるほどの不況の時代。ただ、祖父は、その工事を途中で止め

ることはなかった。そこに祖父の想いの強さを伺うことができ

ます」。近年では珍しい純和風の木造三階建ての本館を案

内していただいた。

威風堂々とした重厚な玄関、郷愁を誘う木造建築。すぐ横には、樹齢数百年という杉や檜が立ち並ぶ。その木々は軒先にあまりにも近く、所々、軒の方が切られている。その理由は、武七氏の哲学にあるという。山の斜面に建てるには、山を削り、木を切らなくてはならない。しかし、山も海も好きだった武七氏は、できるだけ木を切らないでほしいと設計士にお願いしたという。ただ、そのおかげで奇跡ともいわれる宿が現代に残されたといつても過言ではない。「私たちは、山の食物連鎖のバランスの中に居候させていただいているのです」。建物を建てる以前から続けてきた動植物の命を絶たなかったことが、創業から82年間歩み続けることができた所以だ。四季折々に表情を変える庭には、時々ムササビの親子が顔を見せてくれるという。

な苦労があると察し、守り抜く秘訣を訪ねてみた。「私共もそうですが、何よりお客様が楽しんでご利用いただいているという一言に尽きると思います」。聞けば、何十年ぶりに宿泊するお客様も多いという。「当館には、何代も続けてお泊りいただいているお客様がいらつしやいます。「親父に連れられてここへ来た。そしていま自分も父親になり、子どもを連れてきた。いつかは必ずと思っていたが、やっと思いを果たすことができた。当時の建物がそのままあるのが何よりうれしい」という話をよく聞きます」。

いつの時代も、お客様の想いを優しく包み込んでくれるのが旅の宿。唯一無二の湯之島館にお客様の想いが刻まれ、その一方で、宿泊したお客様一人ひとりの心の中に、それぞれの物語が生まれ育まれていく。大切な人と訪れて、物語を紡いでみたいと思わせてくれる宿だ。



数あるさまざまな部屋の中でも「春慶荘」が一番のお気に入りとするオーナーの岩田栄七氏。かつては司馬遼太郎氏が宿泊された部屋でもあり、「街道を行く」で紹介された。



本館と同時期に建てられた洋館内にあるダンスホール。現在はクラブとして使われており、昭和初期の雰囲気そのままだ。



竹の長押や折上天井、囲炉裏など、意匠を凝らした造作によって風情あふれる「ロビー」。



湯之島館 <http://www.yunoshimakan.co.jp>
岐阜県下呂市湯之島645番地
TEL.(0576)25-4126

幸友会会員、2014年11月末まで
宿泊料金10%割引特典あり。
※ご予約時に「中部大学幸友会会員」とお申し付けください。



昭和天皇・皇后両陛下が泊まれた「七重八重の間」。今上天皇・皇后両陛下が泊まれた部屋も別があり、二代続けて皇室の方にお越しいただくことは大変貴重。

今こそ求められる、就職における 企業と大学との関係性とは？

2014年4月、大学生の就職活動における政府の経済界等への要請が報道されました。学業に支障が出るとして、採用に関する広報活動の解禁時期を3年生の3月からに、また、採用試験を4年生の8月からと、就職活動全体を後ろ倒しにするという内容です。思い返せば、2011年1月に倫理憲章の見直しが行われ、広報活動の開始が3年生の10月から12月へと繰り下げられたばかりです。大学新卒者による就職活動の早期化や長期化を是正する動きが再度注目される中、今後、大学はどのように対応していくのでしょうか。また、大学と企業との関係性はどうかあるべきでしょうか。キャリアセンターに伺いました。

就職活動の“後ろ倒し”ではなく“正常化”を目指すは、人を介した就職支援。

今年の4月に報道された政府の要請、この背景について簡単におさらいしておきたいと思います。就職活動の早期化・長期化を是正する動きは、一部の経済界では以前から積極的でした。18歳人口が減少する一方で、大学進学率は上昇。そうした中で大学は、高度専門職業人の養成や、国民に占める高等教育修了者の比率を増やすなど、高等教育機関として重要な役割を担ってきました。しかし、大学教育の現状は、3年生の12月から就職活動が始まることにより、学生たちは早くからその準備に追われ、学業や課外活動に集中できません。つまり学生にとっては、総学修時間の不足とともに、何も最後までやり終えないまま、“これまで”と“これから”について採用担当者から問われ、不安だけが膨らんでいました。このような状況を是正するため、政府は今回の要請に踏み切り、日本経団連は、大学生の新たな採用ルールを定めた「採用選考に関する指針」(2016年春採用より適用)を発表するに至ったのです。

今後、大学は就職支援スケジュールの変更が必須です。本学も2月開催の学内企業説明会は3月以降の実施になるでしょう。学生の就職活動期間も短くなります。ただこれは、大学にとっては歓迎すべき話。就職活動の後ろ倒しではなく、本来あるべき時期の“正常化”と言えます。活動期間がタイトになれば、今までのようなWEBを活用した際限のないエントリー方法ではなく、限られた情報から応募する方法が主流になつていくはず。そのためには、これまで以上に企業と大学とがコミュニケーションを図り、密な情報交換が不可欠です。つまり大学は、企業がどんな人材を求め、どのように育てていくかとしているのか、一方企業は、大学がどんな教育をおこなっているのか、キャリア形成を支援しているのか、お互いをよく知り、本来あるべき“人を介した就職支援”を目指すということ。社会人として働いた経験のない学生が就職先を探す際には、やはり適切なアドバイザーが必要だと考えています。

2012年度の就職結果報告

(2013年3月31日現在)

学科名	卒業生数 (人)	就職希望者数 (人)	求 人			就 職			幸友会会員企業就職		
			会社数(社)	人数(人)	求人倍率(倍)	会社数(社)	人数(人)	就職率(%)	会社数(社)	人数(人)	会員への就職率(%)
機 械 工 学 科	168	154	7,497	7,508	48.8	127	146	94.8	50	59	40.4
電気システム工学科	100	91	7,418	7,421	81.5	80	91	100.0	34	39	42.9
電子情報工学科	67	56	7,149	7,158	127.8	50	52	92.9	19	19	36.5
都市建設工学科	40	34	7,002	7,011	206.2	29	34	100.0	12	13	38.2
建 築 学 科	120	112	7,011	7,015	62.6	94	110	98.2	20	26	23.6
応 用 化 学 科	80	66	6,768	6,770	102.6	57	61	92.4	8	9	14.8
情 報 工 学 科	92	73	6,913	6,915	94.7	61	69	94.5	17	22	31.9
経営情報学科	139	110	7,099	7,099	64.5	101	106	96.4	8	8	7.5
経 営 学 科	140	121	7,109	7,110	58.8	110	120	99.2	12	12	10.0
経営会計学科	2015年3月卒業予定										
国際関係学科	44	35	6,940	6,940	198.3	31	32	91.4	6	6	18.8
国際文化学科	52	39	6,927	6,927	177.6	35	36	92.3	3	3	8.3
中国語中国関係学科	13	11	6,899	6,899	627.2	9	9	81.8	0	0	0.0
日本語日本文化学科	81	65	6,880	6,880	105.8	60	61	93.8	5	5	8.2
英語英米文化学科	47	36	6,919	6,919	192.2	34	34	94.4	1	1	2.9
コミュニケーション学科	81	58	6,946	6,946	119.8	55	56	96.6	5	5	8.9
心 理 学 科	89	60	6,881	6,881	114.7	49	51	85.0	5	5	9.8
歴 史 地 理 学 科	65	45	6,856	6,856	152.4	43	44	97.8	2	2	4.5
応用生物化学科	121	96	6,629	6,629	69.1	85	91	94.8	5	5	5.5
環境生物科学科	80	62	6,586	6,586	106.2	56	60	96.8	5	5	8.3
食品栄養科学科	97	79	6,526	6,526	82.6	67	73	92.4	3	5	6.8
生命医科学科	72	56	6,545	6,545	117	45	55	98.2	5	8	14.5
保健看護学科	131	118	6,659	6,722	57	49	118	100.0	1	2	1.7
理学療法学科	2014年3月卒業予定										
作業療法学科	2014年3月卒業予定										
臨床工学科	2014年3月卒業予定										
スポーツ保健医療学科	2015年3月卒業予定										
幼児教育学科	82	78	6,967	6,998	89.7	75	78	100.0	3	3	3.8
児童教育学科	83	69	6,794	6,794	98.5	67	69	100.0	2	2	2.9
合 計	2,084	1,724	※ 9,261	166,055	96.3	※ 1,262	1,656	96.1	※ 172	264	15.9

※ 求人社数は9,261社

※ 1,262社に1,656名が就職

※ 幸友会企業172社に264名が就職

2年生を対象とした職業教育、「キャリア形成支援プログラム」を実践中。

昨年からは本学では、文系の2年生を対象とした「キャリア形成支援プログラム」をスタートさせました。目的は、企業と仕事へのイメージを育て、地域産業の特性を理解させること。通年型のプログラムで、メインは、愛知ブランド企業による「講演会」と「企業見学会」の開催です。愛知ブランド企業とは、愛知のものづくりを世界的ブランドへ展開するため、県内の優れたものづくり企業を愛知県が認定するもの。その企業の経営者の方の講演や、9月には工場見学をバスツアーでおこなっています。それらの前後にはワークショップも実施し、各種テーマを設定してディスカッションを重ねています。いずれも自由参加ですが、高い参加率を実現。さらに今年も、「かすがいビジネスフォーラム」へ参加し、事前に調べた企業ブースを訪問し、担当者へインタビューをおこなうなど、地元企業の技術やサービスなど、実社会に対する認識を深める機会を設けてあります。プログラムの締めくくりには、学生にビジネス能力検定を受験させるなど、さらなる充実も図っています。就職率の向上はもと

より、就職後の定着率の向上や、よりよい仕事ができる人材育成を目指した職業教育を実践中ですので、今後の中部大学にぜひご期待ください。

また、講演会や企業見学会においては、来年以降、幸友会会員企業の皆様にもご協力をお願いしたいと考えています。企業の皆様にとりましてはアピールの場になりますし、経営者の思いを若者へ伝える機会にもなります。将来的には企業の魅力や事業内容などへの理解を深めた上での志望にもつながると思います。ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

採用担当者様へ

求人に関するご相談やお問い合わせは、キャリアセンターまでお気軽にどうぞ。



中部大学キャリアセンター
TEL.0568-51-4184(直通)
FAX.0568-51-1982
E-mail:syusyoku@chubu.ac.jp

「幸友会就職ナビ」
掲載企業も募集中

中部大学幸友会事務局
TEL.0568-51-4740(直通)
http://www.chubu.ac.jp/koyunavi/
(幸友会就職ナビ)

築き上げた50年、支え続けた25年、これからの50年を視野に入れて進む。

第25期

中部大学 幸友会総会報告

平成25年4月24日(水)、名古屋東急ホテル・バロックの間にて、「第25期中部大学幸友会総会」が開催されました。少しでも光が見え始めた日本経済。将来を考えると決して安堵できる状況ではありませんが、中部大学の前向きで将来性のある話題を中心に、登壇者・参加者から語られる話には、日本の底力を期待することができました。

※所属・役職は総会当時のものです。

大学と共に
歩み続けて四半世紀。
産学連携に
貢献する幸友会を。

来年、開学50周年を迎える中部大学。そんな大学の発展を支援し続けて25期目を迎えた幸友会。幸友会会長の松尾隆徳氏の「産学連携をより進めるために、幸友会が橋渡しの役割を担っていきたい」という抱負の言葉から幕を開けました。

続いて、飯吉厚夫名誉会長が、会員企業による幅広いご理解、ご支援に謝辞を述べられるとともに大学の近況報告をされました。さらに、開学50周年記念「学生支援センター棟(仮称)」の設

置と、持続可能な発展のための教育活動(ESD)の拠点事務局であることに触れ、幸友会会員企業へ注目・参加を求めました。その後、来賓としてご列席いただいた経済産業省中部経済産業局局長の山本雅史氏、幸友会顧問で、あま市長の村上浩司氏からも祝辞の言葉をいただきました。

幸友会常任理事の木野瀬印刷株式会社代表取締役木野瀬吉孝氏より第24期事業報告と収支報告、さらにマズプロ電工株式会社相談役瀬尾英重氏より第25期事業計画と収支予算について報告がありました。

総会終了後は、清水建設株式会社代表取締役社長の宮本洋一

氏による講演会を開催。「シミズの環境への取り組み」と題して、清水建設が提唱するecoBCPの取り組みについて講演されました。最後に、会場を移しておこなわれた懇談会では、幸友会会員の企業同士だけでなく、教職員とも親睦を深め、終始盛況で幕を閉じました。



中部大学の近況報告をする飯吉名誉会長。

プログラム	中部大学幸友会 新役員	第25期 中部大学幸友会事業計画
<p>■総会(午後4時00分～)</p> <p>開会 会長あいさつ 名誉会長・理事長あいさつ 報告:理事会・評議員会の 審議事項の報告</p> <p>■講演会(午後4時50分～)</p> <p>[演題] シミズの環境への取り組み</p> <p>[講師] 清水建設株式会社 代表取締役社長 宮本 洋一氏</p> <p>■懇談会(午後6時20分～)</p>	<p>新顧問 岡谷商工会議所 会頭 林 新一郎</p> <p>新理事 中津川包装工業株式会社 代表取締役社長 大辻 誠</p> <p>新評議員 オオサキメディカル株式会社 代表取締役社長 大崎 将男 (敬称略・平成25年4月24日現在)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総会・理事会・評議員会の開催 2. 学術文化興隆のための事業として講演会、研修講座の開催と中部大学公開講座の後援及び中部大学キャンパスコンサートへの協力 3. 学園が行う地域交流を支援、促進するための事業 4. 2014企業ガイド・幸友会就職ナビの作成及び中部大学学内企業説明会協賛 5. 会員相互の親睦と啓発のための事業 6. 産学官連携協力事業 7. 幸友会会報「幸友」の発刊 8. 中部大学主催講演会・講座・研究発表会等の案内及び中部大学定期刊行物等の配布 9. 中部大学開学50周年事業への協力 10. その他(本会の趣旨に即する事業・功績への協力)

第24期 中部大学幸友会事業報告(一部抜粋)

平成24年		11月	
4月		9日	役員研修会(下呂)
12日	第77回常任理事会開催(名古屋東急ホテル)	14日	第19回企業経営講演会 開催(中部大学名古屋キャンパス)
25日	第24期理事会・評議員会、総会、講演会、懇親会開催(名古屋東急ホテル)	15日	中部大学幸友会会報「幸友」Vol.15 会員に配布
5月		16日	第3回中部大学ヘルスサイエンスヒルズシンポジウム 参加(中部大学)
21～22日	学内企業説明会 協賛(中部大学)	12月	
24～25日		1日	第9回中部大学音楽祭 後援(しらかわホール)
29日	キャリア教育科目・社会人基礎知識 幸友会講座「先輩からのメッセージ①」(中部大学)	15日	第71回中部大学キャンパスコンサート 後援「荒井美沙樹 ピアノリサイタル」(三浦幸平メモリアルホール)
6月		15日	中部大学中部高等学術研究所国際GISセンター 知の統合シンポジウム 参加(中部大学)
19日・26日	キャリア教育科目・社会人基礎知識 幸友会講座「先輩からのメッセージ②」(中部大学)	平成25年	
20日	中部大学民族資料博物館2012春季連続講演 参加「五感をめぐる生活文化の情景」	1月	
30日	第70回中部大学キャンパスコンサート 後援「フランチェスコ ニコロージ ピアノリサイタル」(三浦幸平メモリアルホール)	10～11日	学内企業説明会 協賛(中部大学)
7月		17～18日	
5日・19日	中部大学民族資料博物館2012春季連続講演 参加「五感をめぐる生活文化の情景」	21日	
11日	第18回企業経営講演会 開催(中部大学名古屋キャンパス)	15日	2013企業ガイド発刊・就職ナビの開設
15日	中部大学幸友会会員名簿発行 全会員に配布	2月	
19～20日	学内企業説明会 協賛(中部大学)	12～14日	学内企業説明会 協賛(中部大学)
23～24日		18～20日	学内企業説明会 協賛(中部大学)
8月		25～27日	学内企業説明会 協賛(中部大学)
24日	中部大学フェア2012 参加(中部大学)	28日～3月1日	学内企業説明会 協賛(中部大学)
9月		16日	第72回中部大学キャンパスコンサート 後援「伊藤香紀 ピアノリサイタル」(三浦幸平メモリアルホール)
15日	2013企業ガイド・就職ナビ掲載案内発送 幸友会法人会員に案内	3月	
10月		1日	平成24年度中部大学総合工学研究所研究発表会 参加(中部大学)
10日	第78回常任理事会 開催(名古屋東急ホテル)	6日	平成24年度中部大学産業経済研究所研究発表会 参加(中部大学)
24日	中部大学総合工学研究所講演会 参加(中部大学)	22日～4月12日	中部大学民族資料博物館平成24年度特別講座「古典絵画」絹絵と板絵発表展示 参加(中部大学)
25～26日	学内企業説明会 協賛(中部大学)		
29～30日			

シミズの環境への 取り組み

「講師」清水建設株式会社 代表取締役社長

宮本 洋一 氏
みやもと よういち



Profile

宮本 洋一

1947年、東京都生まれ。1971年、東京大学工学部建築学科卒業。同年、清水建設株式会社入社。清水建設入社後、建築畑を一貫して歩み、東京都庁第一庁舎やDNタワー(第一・農中ビル)、工学院大学八王子校舎など、大型建築工事を指揮。阪神大震災後、1997年に耐震営業推進室の初代室長に就任。営業最前線で新技術を売り込み、国立西洋美術館や大阪市中央公会堂の免震レトロフィット工事を受注。東日本大震災を経て、これからの安全で安心な建物・街づくりの基本的考え方として「ecoBCP」を提唱。2007年より現職。

提唱する

ecoBCPについて

日本を代表する実業家、澁澤栄一翁の言葉に「論語と算盤」があります。「個人を利用するだけでなく、国家・社会をも利する事業でなければならぬ」。すなわち、企業は利益のみに固執した経営を行うのではなく、正しい道理に基づくべきであり、国家・社会にも貢献できなくてはならないという信念を述べた言葉です。清水建設の創業以来の姿勢とも合致しており、「論語と算盤」は当社の経営と環境への取り組みの基本理念となっています。

当社では東日本大震災を契機に、「ecoBCP(省エネ事業継続計画)」という考え方を提唱しています。平常時のeco(省エネ)活動であっても、多少投資が必要です。巨大地震等の非常時のBCP(事業継続計画)だけを強化しようとしても発電機を設けるなど、やはり費用がかかります。平常時と非常時の電力運用を互いによく利用し、無駄なく体系的に組み合わせることによって施設の価値を高めていくことが当社の提唱するecoBCPです。

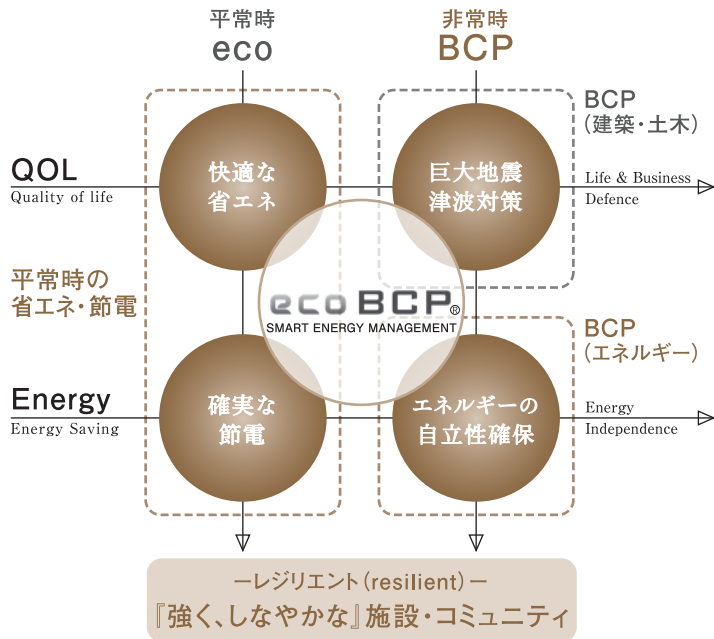
当社の新本社は、国土交通省管

轄の建築環境総合性能評価システム(CASBE)で最高ランクのSランクを獲得。また、アメリカを中心に世界で広がりつつある建物環境総合性能評価指標(LEED)でも、新築オフィスビルとしては日本初のゴールド認証を獲得しました。新本社は、東日本大震災よりも前に最先端の環境配慮型に決めて建設を開始したところ、東日本大震災以降のさまざまなことに対応できるモデルビルとなりました。太陽光発電、風力発電などのクリーンエネルギーは、安定的に発電できません。そこで、クリーンエネルギーと蓄電池を組み合わせ、エネルギー需要の変化に合わせてITネットワークで最適制御するマイクログリッドにより、平常時は蓄えた電力を建物電力使用のピークに放電し、契約電力量を削減。また、蓄えた電気を停電時に放電することで非常時の発電機以外での電力供給が可能となり、平常時のecoと非常時のBCPを両立しています。さらに、照明・空調の工夫、施設情報を一元管理するIP統合ネットワークの構築、パソコン消費エネルギーの「見える化」などの取り組みにより、初年度のCO₂量を62%削減できました。今後、運用

により70%まで削減し、最終的にはCO₂排出権を活用したカーボンオフセットの利用により、CO₂排出量ゼロを達成したいと考えています。この新本社をecoBCPモデルとして、更なるecoBCPの展開を図っていきます。

中部大学との取り組み

現在、中部大学様と一緒に、キャンパス内の新築建物単体から複数の建物の



群を対象としたecoBCPに取り組んでいます。そのきっかけは、今後の研究教育活動の発展に伴い、キャンパス運営面で電気が不足する課題が浮上したことです。新たな節電の必要性、予想される東海・東南海・南海連動型地震への対策、全学省エネ活動の更なる推進などから、ecoBCPの考えをキャンパス全体に適応した、スマートエコキャンパスへの取り組みがスタートしました。このスマートエコキャンパスでは、ステップごとに学部建物群のスマート化を図ることで、近い将来にはキャンパス全体のスマートコミュニティ化を目指しています。

第一ステップでは、電力需要側において、空調・照明の遠隔による自動制御と電力消費量の見える化による人的制御で省エネ・節電効果を高め、電力供給側では、ガスコージェネレーション、太陽光発電、蓄電池をマイクログリッドシステム(二つの建物や施設群でエネルギーをマネジメントする技術)によってトータルコントロールし、省エネとピークカットによる節電を図ります。昨年夏の運営結果は、24.3%と25%の節電目標をほぼ達成。省エネ目標値15%に対して夏期は、29.5%の削減を達成しました。エネルギーのBCP面でも、太陽光とコージェネレーション(発電時に発生した排熱を利用して、冷暖房や給湯などに利用する熱エネルギーを供給する仕組み)および非常用発電機の設置により、電力が途絶えた際に、実験機器と在館者の最低限の電力確保が可能です。この取り組みは、社会的にも大きな意義があり、その一つが、段階的な整備手法の有効性を立証しつつあります。単体の施設レベルから施設群レベル、街、都市レベルへのecoBCPに発展させてゆくというものです。

将来を見据えた環境への配慮

これまで環境への取り組みは、平常時を中心に進められてきました。これからは非常時には、安心・安全とエネルギーの自立性を確保し、平常時には省エネ・節電、さらには生物多様性などの環境配慮を行うことが必要なのではないでしょうか。必要なエネルギーをどのように確保していくのかを真剣に、現実にはどうするか。そういった意味で、自然エネルギー、再生可能エネルギーの推進にも取り組まなければなりません。しかし、再生可能エネルギーは安定的ではありません。安定化に向けて蓄電池の利用や、水素発電などのさまざまな研究開発が必要です。しかし、実現化には少し時間がかかります。その間どうするかを考えていかねばなりません。私たちは、そうした働きかけを含めてecoBCPへの取り組みを通して、愛する日本の将来のため、安心安全な国土建設に貢献したいと考えています。

幸友会会員企業から
中部大学生へのメッセージ

幸友会講座ダイジェスト

社会へ出る前に深く考えておいた方がよいこと、

学生時代のうちにすべきことなど、企業人として、あるいは人生の先輩として、

学生へ伝えておきたいことが多々あります。

社会人としての基礎知識力を身につけることを目的にしたキャリア教育科目として開かれた「幸友会講座」。

今回も、企業人の熱い思いを学生の皆さんへ届けました。

※講師の所属・役職は講演当時のものです。

2013年5月28日(火)開催

[キャリア教育科目・社会人基礎知識]

演題:「一緒にまちづくりをしませんか?
～未来の後輩たちに名古屋市職員の仕事と魅力をご紹介します～」

講師 飯田 真由美氏

名古屋市交通局 総合企画部 経営企画課 主幹

2013年6月18日(火)開催

[キャリア教育科目・社会人基礎知識]

演題:「なりたいたい人になるために」

講師 森 哲也氏

株式会社東伸 採用担当部長
テムスト株式会社 人事担当

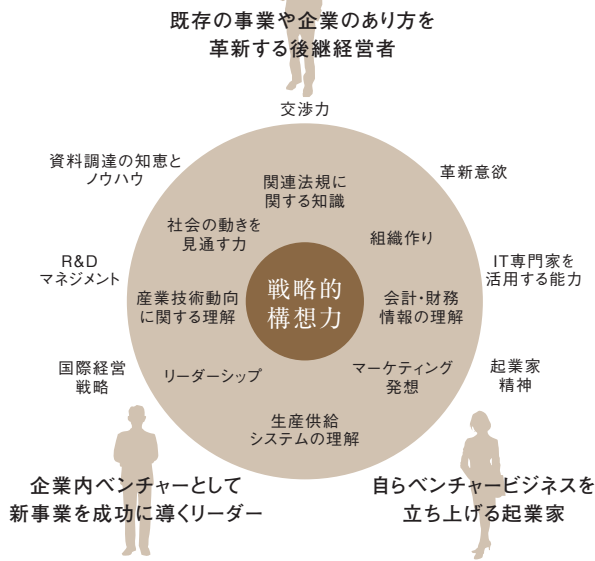
「誰かの役に立ちたい」なら、
公務員も選択肢です。

いま学生のみなさんは、就職という人生の岐路に立っていることでしょう。「学生」を終えると、そこからは自分の力で生きていかななくてはならない…「なんでもいいから就職したい」と思う人も多いかもしれません。でも、これからの人生は長い…。「なんでもいい」という前に、まずどんな人生を歩みたいか、じっくり考えてください。自分にできることを想像してみてください。思い描く選択肢を増やし、かつ、その中から正しく選ぶとするには、「知っている」を増やすことが必要です。大学で学ぶ知識、アルバイトでの経験、友人や先輩との付き合い方…多ければ多いほど選択肢は増え、「得意なこと・苦手なこと」「好きなこと・嫌いなこと」「楽しいこと・楽しくないこと」がハッキリするはず。そして、それらは絶対にムダになることはありません。知識や経験は就職後の仕事や交流の幅を広げるもととなり、友人や先輩は精神的な支えだけではなく、仕事上のパートナーになってくれる可能性を秘めているからです。よく学び、よく遊べ…みなさんにとって人生の先輩である私が、いま自信を持って言えることなのです。

自分の夢をいかにリアルに描き、
すぐに行動へ移せるか。

リクルートで10年間勤務した後、産業用機械の製造を行う東伸の関連会社テムスト株式会社へ入社。現在は、人事を担当しています。私の夢は、キャリア教育活動を通してニート・フリーターをなくすこと。学生の皆さんには、人として大きく成長し、幸せになってもらうためにも、絶対に正社員にならないといけません。そこで、採用される人はどのような人なのか。それは、目力のある人です。一生懸命打ち込んだものが1つでもある人は目力が違います。面接の第一印象でその力を見抜くことができます。また、企業は「感謝」「素直」「感動」の3つを持っている人を求めています。これらの要素が行動に結びついていない人は会社に入っても伸びません。さらに、採用基準に関する調査で多くの企業が第1位にコミュニケーション能力を挙げています。社会人は知識・知恵の出し合いだからこそ、自分の言葉で意見を語れる人を求めているのです。就職活動を迎えて、なりたいたい目標に向かって、どう行動するのか。今から行動を変えることで、将来を変えることができます。現在は過去の結果であり、未来は現在の結果なのですから。

■MBAが育成する
ビジネスリーダー



中部大学ビジネススクール (MBA)は、「新事業の開拓」や「事業の革新」を志すビジネスリーダーが実践的経営学を学ぶ社会人大学院です。豊富な実践経験を持つ教授を多数揃え、在学中はもとより、修了後も「生涯学習」をしっかりと支援します。

MOT型 MBA

中部大学ビジネススクール(経営学修士課程)

修了生からのメッセージ



MBAで身につけた将来ビジョンを構想し、事業計画を組み上げる知恵、日々実践しています。

おくむら こうすけ (有)奥村工業所(株)メタルソリッド 代表取締役社長 奥村 康祐さん



MBAの勉学を通じて、現代社会のスピードと情報の渦に流されない自分形成ができました。

はやし りつゆき 立風製陶(株) 代表取締役社長 林 立之さん



変化の激しい経営環境のなかで行動する経営者に求められる広い視野で考える力を得ました。

きたがわ せいじ (株)キタガワ工業 代表取締役社長 北川 誠治さん

中部大学MBA同窓会イベントスケジュール

生涯勉強し合える仲間を大事にしたいという思いで発足した同窓会ですが、実態は異業種交流会です。

6月

総会

会計報告と事業計画が発表されます。総会後には講演会や懇親会が開かれることもあります。

8月上旬

MBA説明会

中部大学名古屋キャンパスで説明会を開催します。

9月上旬

勉強懇親会

●2012年…新穂高 ●2013年…犬山市

10~11月

勉強会(工場見学、講演会)

<過去実績>

- ちこり村(中津川市・2009年)
- ヤイリギター(可児市・2010年)
- (株)水戸理化学工業(平沼社長講演 (中部大学名古屋キャンパス・2011年))
- 永井海苔(株)(豊橋市・2012年)

2月

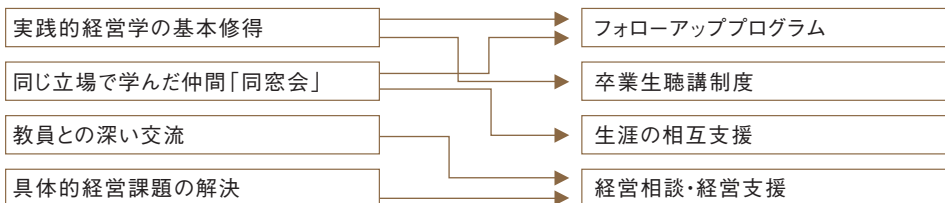
修士論文発表会

発表会は、卒業生にも案内を送ります。旧友との再会、新しく同窓会の仲間になる2年生との交流ができます。

中部大学MBAは修了後も生涯学習と企業経営を応援・支援します。

[在学中] 働きながらMBA

[卒業後] 生涯学習+経営支援



生涯成長
+
事業発展

詳細は別途パンフレットをご用意しています。 お問い合わせ先/広報部 TEL.0120-873-941

メンバーズサロン

Member's Saloon



幸友会会員企業の皆様から寄せられた
投稿をご紹介します「メンバーズサロン」。
半生を振り返り転機となったエピソード、
海外視察の手記、学びへの飽くなき挑戦心などを
綴った個性的な原稿が今回も揃いました。
行間から垣間見える素顔をお楽しみください。

投稿募集

メンバーズサロンでは、会員の皆様からの原稿を募集しています。テーマは自由です。日頃思っていることや趣味のこと、昔の思い出話や体験談、エッセイや人生訓など、短文でも構いません。文字数は600字程度で、タイトルをつけてお寄せください。また、本文に関するお写真等がございましたら、一緒に幸友会事務局までお送りください。ご応募をお待ちしております。

携わることができません。
自分の人生を振り返ってみると、
十代、二十代は大学受験や就職と
いう人生の大きな節目でしたが、
ことごとく失敗、病いと闘いも
あって決して順調ではありません
でした。しかし、この期間があった
からこそ、今の自分があると言っ
ても過言ではありません。

あつた方が成長する機会が与えら
れます。困難に正面から向き合っ
てひたむきな努力をする、決して
焦ったり腐ったり人のせいにはしな
いこと。臨機応変、変化に対応でき
ることをモットーに、『運』が高まる
よう日々心がけています。

私は、大学卒業後すぐに海部俊
樹代議士の私設秘書、愛知県議会
議員、犬山市長と政治の道を歩ん
でまいりました。皆さんから、「あなた
は運のいい人だ」とよく言われます。
昭和三十三年十月十日生まれの
五十五歳、政治家の家系に生まれ
たわけでもなく、いわゆるたきあ
げと自負しています。しかし、政治
の世界ほど、人の力を借りなけれ
ば様々な志が成就できない道はな
く、また、『運』もなければ政治に

三十一歳の時、海部さんが総理
大臣に就任、当時秘書であった私
にとつても大きな転機が訪れまし
た。人の運が自分の運を変えたよ
うな気がします。三十三歳の時に
結婚、三十六歳で出馬し、以来一人
選出の選挙で五回とも当選をさせ
ていただいています。

四十八歳、市長に就任して四か
月後、生死にかかわる病気が発生
しましたが、幸運が重なり支障な
く今日も公務に精励しています。
人間少々恵まれなくて、ハンデが

『運』

犬山市長

田中 志典

たなか ゆきのり

ミャンマーを訪問して

河合石灰工業株式会社 代表取締役社長

河合進一

私は現在、岐阜県工業会の会長を仰せつかっておりますが、この8月上旬にジェトロとのタイアップで、民主化へ転舵して西側諸国のトップ訪問が続いているミャンマー連邦共和国（敬虔な仏教国又少数多民族を内包している）を経済視察と現地企業との交流会の目的で訪れて来ました。

人口6062万人、面積68万平方キロ弱（日本の1.8倍）、新首都はネピドーですが、経済の中心で最大の都市ヤンゴンを中心に視察をした中から幾つか紹介させて頂きます。

ヤンゴン市南郊外に日本で言うと大田区のような中小企業の工場が集積した地域があり、訪問した3工場の1つは日本でもブランド品となっている高級革靴をほぼ手造りで製造しておりました。2つ目は日本の電気関係の大手メーカーの部品を主に二直操業で製造しておりましたが、電力の供給が一日約5時間で

後は自家発電となるため、発電機用の

石油価格が高く電力価格が2.5倍に

なる事、又会社としての人件費は工場

ワーカー1人当り現在月100ドル位

であるが、最近は年率2〜3%上昇し

てきているとの事でした。3つ目は変圧

器とテレビアンテナは自社生産ですが、

主力は中国から各種無印家電製品を

輸入し、自社ブランド名を付けて国内

の直営店や契約販売店に流している企

業でした。さらに、日本の大手商社連合

が開発を進めているティラワ経済特別区

（24平方キロ）も視察して来ました。

最後にヤンゴン最大の寺院シユエダゴ

ン・パゴダを参拝見学して来ました。

尚、軍事政権下での民主化ではあり

ますが、かつて海外へ脱出した知識層が

帰国して活動し始めており、民主化と

経済発展がこれからどう展開していく

のか目が離せない国であることは確か

でした。

一生勉強 一生青春 人生無駄なし

株式会社協和コーポレーション 代表取締役

木野村好己

私は中部大学大学院経営情報学研究科経営学専攻に58歳で入学し、60歳で卒業しました。「今さら」と言われたことも有りましたが、経営を理論として勉強することに無駄は無かったと思います。もともと早く学んでおけば良かったという悔いも全く有りません。何故なら30歳の時に同じ勉強をしていても捉え方、感じ方、必要性など全く違うと思うからです。

ヨーロッパの宮殿の庭の芝は200年〜300年かかって素晴らしい芝が出来上がっています。300年分の費用を1年間に投入しても、同じ芝は出来ません。時間的ロスも無駄ではないのです。「理論なき実践は盲動であり、実践なき理論は空論である」の言葉のように、我々経営者は学校との交流が必要です。商工会議所等で

も産学連携の必要性が言われています。この世の中には経営の罫も多く存在しています。日々経営判断をしていかなければならない経営者は、理論を勉強することによって罫にはまることも少なくなり、自信が付き前へ進む力がより強くなるものと思います。人間には名古屋城の石垣のようにポジションがあります。そのポジションを確実に守るにはハングリー精神が必要です。「アントレプレナー」とは起業家、企業家、獨創性、冒険性によって経営者の中でも分かれます。経営者としての人生に対する挑戦意欲が事業の成長を決めると思います。夢、希望を持ち実務能力を育てて行くことが有意義な人生を送る為にも最も必要なことと思います。



中部大学フェア 2013

—人づくり・モノづくり・コトづくり・夢づくり—

2013年8月23日(金)に行われた中部大学フェア2013。

9回目となる今回は、まちづくりを支える人材育成、都市の賑わい・活力の源泉である学生の存在とそのエネルギー、大学発の研究シーズの活用、健康で豊かな地域社会の実現など、地域連携をテーマにシンポジウムを開催。その後は体育館にて、中部大学と企業、自治体、地域団体の皆様による知的財産の交流がはかられました。



シンポジウム

テーマ：「地域連携—あてにされる大学」

会場：5011講義室(50号館1階)

ほとばしる情熱! 熱き思いを!

～夢を実現させようとする熱き思いが地域を活性化させる～

あおき とよひこ

株式会社アオキ 代表取締役社長 **青木 豊彦氏**

PROFILE

1945年大阪府生まれ。高校卒業後、父が経営する青木鉄工所に入社。95年、社名を株式会社アオキと変更し、二代目社長に就任。97年、世界最大の航空機メーカーである米ボーイング社の認定工場となる。2002年「東大阪宇宙開発協同組合」を設立し、理事長に就任。人工衛星「まいど1号」の打ち上げプロジェクトに取り組む。05年、理事長を退任。同年、東大阪市モノづくり親善大使を拝命。09年1月、人工衛星「まいど1号」の打ち上げに成功。

2009年1月23日、鹿児島県種子島宇宙センターから打ち上げられたH-IIAロケット15号機に搭載された人工衛星「まいど1号」。その開発と推進で指導的役割を果たした株式会社アオキは、大小さまざまな町工場が密集する東大阪にある従業員わずか35名の会社。金型と航空機部品の製造で著名で、1997年にボーイング社認定工場として東大阪で唯一認定を受けています。ボーイング社のサーベイ(調査)を大手企業と同時に受け、競合である大手企業が保留された一方で、認定を受けた当時は振り返りました。「会社で働く社員が目が光っていたからだ」とボーイング社の担当者が言ったのです。当然それだけではないのですが、ほんまにうれしかった。お金や出世のためだけに働くのではなく、自分たちの仕事への愛着と誇り、それ以上に自分たちの仕事が多くの人に喜ばれているという実感。もしそれがなければ、どこに仕事や会社の価値があるのでしょうか」と、目がしらを熱くしながら参加者に語りかけられました。人工衛星「まいど1号」は、東大阪の街を元気にするだけでなく、ものづくりに関心を持ってもらう

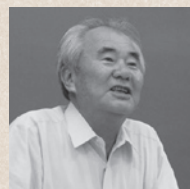


ための手段。そのもくろみはマスコミの応援などもあり大成功。「人工衛星「まいど1号」には大きな反響があり、最近では修学旅行生が会社見学に来ます。将来、彼らがものづくりをやってくれたらええなという気持ちになる」と胸中を述べるとともに、地域と仲間の協力、産学官がうまく連携して実現した「まいど1号」打ち上げまでのエピソードを語られました。熱くユーモアあふれる講演に、参加者からは終始笑いと喝采が絶えませんでした。



「地育地活」の人材育成を
目指す中部大学

中部大学 学長
やました おきつく
山下 興亜



春日井の財産「中部大学」
一緒になって春日井創り

春日井商工会議所 会頭
まつお たかのり
松尾 隆徳氏

ミニ講演会

会場:体育館

現代教育学部

自ら学ぶ能力を育てる教育技術

全ての教育活動は、言葉を通じて理解されるもの。現代において、「教師が教えること」を中心とした教育から「子どもが学ぶこと」を中心とした教育へのパラダイムの転換が求められています。そのための具体的な教育技術として、深谷准教授が開発し、全国の小学校で普及が広がっている「辞書引き学習」について、その取り組み方法・目的・効果を分かりやすく解説されました。

深谷 圭助 児童教育学科 准教授



特別企画

物作りにおける接合技術の基礎と応用

“物作りプロセス”の重要な要素技術の一つ、接合。接合法には、ねじ止め、圧着、嵌合等の機械的手法、接着剤塗布による化学的手法、熱拡散による溶着法等があります。次世代の接合は、薄くすることが課題。接合技術の基礎を材料物性に基づき理解し、新しい接合系への可能性探索と接合メカニズムの解明を応用したガス吸着接合技術について具体的に紹介されました。

多賀 康訓 薄膜研究センター センター長・教授



工学部

家庭用コジェネレーションシステムに使用される次世代型燃料電池とその応用技術

各燃料電池の中で最も発電効率が高いとされる固体酸化物形燃料電池。燃料電池と、その応用による創エネルギー技術について解説。

伊藤 響 創造理工学実験教育科/応用化学科 教授

国際関係学部

海外からのまなざし：インバウンド観光にみる中部地方の評価

国籍や属性によって、訪日観光客の日本イメージや観光行動には大きな違いがある。私たちの住む中部地方は、どのようなまなざしを向けられているか考察。

澁谷 鎮明 中国語中国関係学科 教授

経営情報学部

情報技術(IT)は私たちが幸せにするのか

私たち人間の知的労働までもカバーしつつあるIT。私たちに光を与えるばかりではなく、影を作ることを意味するITの進歩について考察。

小川 裕克 経営情報学科 教授

生命健康科学部

途上国における産業保健協力

困難が生じている、途上国における実質的な産業保健を遂行するために必要となる活動を推進するための協力活動の一部を紹介。

城 憲秀 保健看護学科 教授

応用生物学部

中部大学応用生物学部と愛知県農業総合試験場との学術連携

平成24年7月に愛知県農業総合試験場と研究協力の学術協定を締結した応用生物学部。学術協定を活かした研究・技術開発について紹介。

和田 俊夫 食品栄養科学科 教授 山田 邦夫 環境生物科学科 准教授

人文学部

学生と高齢者とのコラボレーション

中部大生が高齢者の協力を得て、高蔵寺ニュータウン活性化アイデアを盛り込んだビデオ作品8本を制作。学生と高齢者のコラボレーションを支えたものとは何か考察。

齋藤 宏保 コミュニケーション学科 教授

セッション

技術相談・知的財産相談コーナー [会場]体育館

中部大学専属のコーディネーター7名を会場に配置し、企業様からの相談に応じました。

交流コーナー [会場]体育館

会場内に設けられた交流コーナーで、ご来場者の皆様と中部大学の研究者とが、自由に意見交換をおこないました。

高校生理科分野の自由研究発表会 [会場]体育館

参加した高校生たちが企業関係者や大学関係者に向けて研究発表・プレゼンテーション・ポスター展示等をおこないました。

施設見学会 [会場] 知の統合基盤デジタルアース研究センター

複雑に関連する現象を統合・可視化し、合意形成に貢献する研究を行う、知の統合基盤デジタルアース研究センターを見学。取り組み・研究内容の説明について熱心に説明を聞く参加者の姿が見受けられました。



Event Information

イベントのご案内

学内企業説明会

日時 2月17日(月)～18日(火)
2月20日(木)～21日(金)
2月24日(月)～28日(金)

会場 三浦幸平メモリアルホール
(予定)



各企業の皆様には、毎年多くのご参加および求人をお寄せいただき大変ありがとうございます。来年度に卒業予定の現3年生を対象とした「学内企業説明会」を今年度も開催いたします。

■お問い合わせ

中部大学キャリアセンター TEL.0568-51-4184

第21回企業経営講演会

日時 2013年11月13日(水)PM5:00～

会場 中部大学名古屋キャンパス

講師 森口 奈緒子氏(株式会社電通)

演題 「これからの広告とコミュニケーションについて」

時代とともにメディア環境や情報発信のあり方が大きく変化していく中、生活者と企業との関係性をどのように構築していくかは重要なテーマです。広告やコミュニケーションの現状はどうなっているか、また、今後どうなっていくのか。さまざまな角度からの生活者データを交えながら、これからの企業はどのように情報を発信していくべきか、考えていきます。



熱心に聞き入る参加者(第20回講演会より)。

春日井市制70周年記念 2013春日井市民第九演奏会

日時 2013年12月1日(日)PM3:00開演(PM2:00開場)

会場 春日井市民会館

入場料 全自由席1,000円(消費税込)

[曲目] ベートーヴェン作曲
交響曲第9番二短調
作品125「合唱付」

[指揮] 井村 誠貴

[ソプラノ] 飯田 みち代

[アルト] 河村 典子

[テノール] 小貴 岩夫

[バリトン] 田中 勉

[管弦楽] 春日井市交響楽団

[合唱] 春日井市民第九合唱団

[合唱指導] 松下 伸也



■お問い合わせ

春日井市民第九演奏会実行委員会(中部大学 渉外部内)
TEL.0568-51-5250

第10回中部大学音楽祭

日時 2013年12月7日(土)PM3:00開演(PM2:30開場)

会場 春日井市民会館

入場料 無料(入場をご希望の方は整理券が必要です)

今年より会場を春日井市民会館に移して行われる中部大学音楽祭。5つの音楽系サークルが、日々の練習の成果を披露します。今回は、ジャズトリオ「TRISPACE」が賛助出演。メンバーの一人、ピアニストの林祐市さんは中部大学の卒業生です。



第9回中部大学音楽祭の様子。

■お問い合わせ

中部大学 渉外部 TEL.0568-51-5250



キャンパスのほぼ中央に位置するキャンパスプラザ。学生生活に必要なさまざまな施設・設備が集中する、キャンパスライフの拠点です。

幸友会に関するお問い合わせ一覧

(会員数) 法人会員728人 個人会員458人
(平成25年10月15日現在)

○ご入会手続き	▶ 幸友会事務局	0568-51-4740(直通)
○求人に関するご相談	▶ キャリアセンター	0568-51-4184(直通)
○共同研究に関するご相談	▶ 研究支援センター	0568-51-4852(直通)
○オープンカレッジ・公開講座	▶ エクステンションセンター	0568-51-4392(直通)
○大学院・大学入試情報	▶ 広報部	☎ 0120-873941
○中部大学音楽祭・キャンパスコンサート	▶ 渉外部渉外課	0568-51-5250(直通)

本誌に関するご感想や、幸友会に対するご意見やご希望、ご質問などは、下記のE-mailへお気軽にお寄せください。なおバックナンバーをご希望の方はお問い合わせください。

発行 平成25年10月31日

編集 中部大学幸友会

住所 〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 中部大学渉外部内

TEL.(0568)51-4740〔直通〕 FAX.(0568)51-1186

ホームページ <http://www.chubu.ac.jp/> (「企業の皆様」・「地域の皆様」をクリックしてください)

E-mail kouyukai@office.chubu.ac.jp

本誌「幸友」は、学園創立者である三浦幸平先生の名前にちなんで命名された中部大学幸友会の会報誌です。学術・文化交流を促進する“交友”の意味も込められています。